

カリキュラム・マップ

該当するカリキュラム(入学年度)をクリックすると、ディプロマ・ポリシーと授業科目の対応を確認することができます。履修ガイドとあわせて確認し、学修計画を立てる際の参考にしてください。

〔大 学〕

科 目		カリキュラム(入学年度)
大学共通科目		2019～2022年度入学生 2023年度以降入学生
外国語科目		2019～2023年度入学生
国際交流関係科目		2019～2023年度入学生
教職課程科目		2019～2021年度入学生 2022～2023年度入学生
学 科 専 門 教 育 科 目	英文学科	2019～2022年度入学生 2023年度以降入学生
	心理・応用コミュニケーション学科	2019～2022年度入学生 2023年度以降入学生
	経済学科	2019～2022年度入学生 2023年度以降入学生
	経営情報学科	2019～2022年度入学生 2023年度以降入学生
	経済法学科	2019～2022年度入学生 2023年度以降入学生
	社会福祉学科	2023年度以降入学生
	福祉計画学科	2019年度入学生 2020年度入学生 2021～2022年度入学生
	福祉臨床学科	2019～2020年度入学生 2021～2022年度入学生
	心理学科	2019～2022年度入学生 2023年度以降入学生

〔短 大〕

科 目		カリキュラム(入学年度)	
一般教育科目		2019～2023年度入学生	
教 育 科 目	学 科 専 門	英文学科	2019～2022年度入学生 2023年度以降入学生
		生活創造学科	2019～2022年度入学生 2023年度以降入学生

大学共通科目 カリキュラム・マップ

(2019~2022年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	キリスト教による人格教育を基礎として、自由・平等・平和の心を得て、知識と知恵を兼ね備えた豊かな『人間性』を有するようになること。		
	DP2	人々とともに生きる心を養い、主体性のある真の教養を身につけ、広く社会に貢献することができる『社会性』を持ちつづけることができるようになること。		
	DP3	様々な国の人々と心を開いて交流し、異なる文化を理解する国際的視野と判断力を身につけた『国際性』を発揮することができるようになること。		
19 GED 1 01	身体の科学Ⅰ	●	●	
19 GED 1 02	身体の科学Ⅱ	●	●	
19 GED 1 03	スポーツ医学		●	
19 GED 1 04	運動の科学		●	
19 GED 1 05	体力育成論		●	
19 GED 1 06	体育実技Ⅰ		●	
19 GED 1 07	哲学Ⅰ	●		
19 GED 1 08	哲学Ⅱ	●		
19 GED 1 09	心理学Ⅰ	●	●	
19 GED 1 10	心理学Ⅱ	●	●	
19 GED 1 11	現代社会と倫理	●	●	
19 GED 1 12	音楽の世界	●		●
19 GED 1 13	美術の世界	●		●
19 GED 1 14	文学の世界	●		●
19 GED 1 15	文化人類学	●		●
19 GED 1 16	比較宗教学	●		●
19 GED 1 17	仏教の思想と文化	●		●
19 GED 1 18	イスラム教の思想と文化	●		●
19 GED 1 19	人文科学基礎演習Ⅰ	●	●	
19 GED 1 20	人文科学基礎演習Ⅱ	●	●	
19 GED 1 21	科学と人間	●		
19 GED 1 22	物質の世界	●	●	
19 GED 1 23	生命の科学Ⅰ	●		
19 GED 1 24	生命の科学Ⅱ	●		
19 GED 1 25	環境と人間Ⅰ	●		
19 GED 1 26	環境と人間Ⅱ	●		
19 GED 1 27	統計学	●		
19 GED 1 28	数学	●		
19 GED 1 29	自然・数理科学基礎演習Ⅰ	●	●	
19 GED 1 30	自然・数理科学基礎演習Ⅱ	●	●	
19 GED 1 31	日本国憲法		●	
19 GED 1 32	法学		●	
19 GED 1 33	投資と社会		●	
19 GED 1 34	世界の近現代史Ⅰ		●	●
19 GED 1 35	世界の近現代史Ⅱ		●	●
19 GED 1 36	政治学Ⅰ	●	●	
19 GED 1 37	政治学Ⅱ	●	●	
19 GED 1 38	経済学Ⅰ	●	●	
19 GED 1 39	経済学Ⅱ	●	●	
19 GED 1 40	社会学Ⅰ		●	
19 GED 1 41	社会学Ⅱ		●	
19 GED 1 42	メディアと社会		●	
19 GED 1 43	ジェンダーと社会		●	

19	GED	1	44	平和学	●	●	
19	GED	1	45	社会科学基礎演習Ⅰ		●	
19	GED	1	46	社会科学基礎演習Ⅱ		●	
19	GED	1	47	北海道・北方地域文化論Ⅰ		●	
19	GED	1	48	北海道・北方地域文化論Ⅱ		●	
19	GED	1	49	日本の文化		●	
19	GED	1	50	中国の文化		●	●
19	GED	1	51	韓国・朝鮮の文化		●	●
19	GED	1	52	アメリカの文化		●	●
19	GED	1	53	ヨーロッパの文化		●	●
19	GED	1	54	国際・比較文化論		●	●
19	GED	1	55	地域と世界基礎演習Ⅰ		●	●
19	GED	1	56	地域と世界基礎演習Ⅱ		●	●
19	GED	1	57	聖書の思想と文化Ⅰ	●		●
19	GED	1	58	聖書の思想と文化Ⅱ	●		●
19	GED	1	59	キリスト教の歴史Ⅰ	●		●
19	GED	1	60	キリスト教の歴史Ⅱ	●		●
19	GED	1	61	北星学	●	●	
19	GED	1	62	学びとキャリア形成		●	
19	GED	1	63	日本語表現Ⅰ	●		
19	GED	1	64	日本語表現Ⅱ	●		
19	GED	1	65	情報入門	●	●	
19	GED	1	66	情報活用Ⅰ	●	●	
19	GED	1	67	情報活用Ⅱ	●	●	
19	GED	2	01	健康管理学		●	
19	GED	2	02	スポーツ生理学		●	
19	GED	2	03	スポーツ栄養学		●	
19	GED	2	04	体育実技Ⅱ		●	
19	GED	2	05	職業と人生		●	
19	GED	2	06	ハードウェア基礎	●	●	
19	GED	2	07	ソフトウェア基礎	●	●	
19	GED	3	01	生涯スポーツⅠ		●	
19	GED	3	02	スポーツ指導論		●	
19	GED	3	03	健康体力論		●	
19	GED	3	04	人間科学演習Ⅰ	●	●	
19	GED	3	05	人間科学演習Ⅱ	●	●	
19	GED	3	06	キリスト教学演習Ⅰ	●		●
19	GED	3	07	キリスト教学演習Ⅱ	●	●	●
19	GED	4	01	生涯スポーツⅡ		●	

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 GED 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

大学共通科目 カリキュラム・マップ

(2023年度以降入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	キリスト教による人格教育を基礎として、自由・平等・平和の心を得て、知識と知恵を兼ね備えた豊かな『人間性』を有するようになること。		
	DP2	人々とともに生きる心を養い、主体性のある真の教養を身につけ、広く社会に貢献することができる『社会性』を持ちつづけることができるようになること。		
	DP3	様々な国の人々と心を開いて交流し、異なる文化を理解する国際的視野と判断力を身につけた『国際性』を発揮することができるようになること。		
23 GED 1 01	健康管理学		●	
23 GED 1 02	身体の科学Ⅰ	●	●	
23 GED 1 03	身体の科学Ⅱ	●	●	
23 GED 1 04	体力科学		●	
23 GED 1 05	体育実技Ⅰ		●	
23 GED 1 06	哲学Ⅰ	●		
23 GED 1 07	哲学Ⅱ	●		
23 GED 1 08	心理学Ⅰ	●	●	
23 GED 1 09	心理学Ⅱ	●	●	
23 GED 1 10	現代社会と倫理	●	●	
23 GED 1 11	音楽の世界	●		●
23 GED 1 12	美術の世界	●		●
23 GED 1 13	文学の世界Ⅰ	●		●
23 GED 1 14	文学の世界Ⅱ	●		●
23 GED 1 15	文化人類学	●		●
23 GED 1 16	世界の諸宗教	●	●	●
23 GED 1 17	比較宗教学	●	●	●
23 GED 1 18	人文科学基礎演習Ⅰ	●	●	
23 GED 1 19	人文科学基礎演習Ⅱ	●	●	
23 GED 1 20	科学と人間	●		
23 GED 1 21	物質の世界	●	●	
23 GED 1 22	生命の科学Ⅰ	●		
23 GED 1 23	生命の科学Ⅱ	●		
23 GED 1 24	環境と人間Ⅰ	●		
23 GED 1 25	環境と人間Ⅱ	●		
23 GED 1 26	統計学Ⅰ	●		
23 GED 1 27	統計学Ⅱ	●		
23 GED 1 28	数学Ⅰ	●		
23 GED 1 29	数学Ⅱ	●		
23 GED 1 30	自然・数理科学基礎演習Ⅰ	●	●	
23 GED 1 31	自然・数理科学基礎演習Ⅱ	●	●	
23 GED 1 32	日本国憲法		●	
23 GED 1 33	法学		●	
23 GED 1 34	世界の近現代史Ⅰ		●	●
23 GED 1 35	世界の近現代史Ⅱ		●	●
23 GED 1 36	政治学Ⅰ	●	●	
23 GED 1 37	政治学Ⅱ	●	●	
23 GED 1 38	経済学Ⅰ	●	●	
23 GED 1 39	経済学Ⅱ	●	●	
23 GED 1 40	社会学Ⅰ		●	
23 GED 1 41	社会学Ⅱ		●	
23 GED 1 42	ジェンダーと社会		●	
23 GED 1 43	平和学	●	●	

23	GED	1	44	社会科学基礎演習Ⅰ			●	
23	GED	1	45	社会科学基礎演習Ⅱ			●	
23	GED	1	46	北海道・北方地域文化論Ⅰ			●	
23	GED	1	47	北海道・北方地域文化論Ⅱ			●	
23	GED	1	48	日本の文化Ⅰ			●	
23	GED	1	49	日本の文化Ⅱ			●	
23	GED	1	50	中国の文化			●	●
23	GED	1	51	韓国・朝鮮の文化			●	●
23	GED	1	52	アメリカの文化			●	●
23	GED	1	53	ヨーロッパの文化	●		●	●
23	GED	1	54	国際・比較文化論			●	●
23	GED	1	55	地域と世界基礎演習Ⅰ			●	●
23	GED	1	56	地域と世界基礎演習Ⅱ			●	●
23	GED	1	57	キリスト教文化入門Ⅰ	●		●	●
23	GED	1	58	キリスト教文化入門Ⅱ	●		●	●
23	GED	1	59	学びとキャリア形成			●	
23	GED	1	60	日本語表現Ⅰ	●			
23	GED	1	61	日本語表現Ⅱ	●			
23	GED	1	62	情報入門	●		●	
23	GED	1	63	情報活用	●		●	
23	GED	2	01	スポーツ医学			●	
23	GED	2	02	スポーツ生理学			●	
23	GED	2	03	スポーツ栄養学			●	
23	GED	2	04	トレーニング科学			●	
23	GED	2	05	体育実技Ⅱ			●	
23	GED	2	06	コーチング学	●		●	
23	GED	2	07	聖書入門Ⅰ	●		●	●
23	GED	2	08	聖書入門Ⅱ	●		●	●
23	GED	2	09	キリスト教史Ⅰ	●		●	●
23	GED	2	10	キリスト教史Ⅱ	●		●	●
23	GED	2	11	職業と人生			●	
23	GED	3	01	生涯スポーツⅠ			●	
23	GED	3	02	スポーツ科学演習	●		●	
23	GED	3	03	人間科学演習Ⅰ			●	
23	GED	3	04	人間科学演習Ⅱ			●	
23	GED	3	05	聖書講読Ⅰ	●		●	●
23	GED	3	06	聖書講読Ⅱ	●		●	●
23	GED	3	07	キリスト教学演習Ⅰ	●		●	●
23	GED	3	08	キリスト教学演習Ⅱ	●		●	●
23	GED	3	09	生涯スポーツⅡ			●	

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

23 GED 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

外国語科目 カリキュラム・マップ

(2019～2023年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	キリスト教による人格教育を基礎として、自由・平等・平和の心を得て、知識と知恵を兼ね備えた豊かな『人間性』を有するようになること。		
	DP2	人々とともに生きる心を養い、主体性のある真の教養を身につけ、広く社会に貢献することができる『社会性』を持ちつづけることができるようになること。		
	DP3	様々な国の人々と心を開いて交流し、異なる文化を理解する国際的視野と判断力を身につけた『国際性』を発揮することができるようになること。		
19 FOL 1 01	英語Ⅰ			●
19 FOL 1 02	英語Ⅱ			●
19 FOL 1 03	ドイツ語Ⅰ			●
19 FOL 1 04	ドイツ語Ⅱ			●
19 FOL 1 05	フランス語Ⅰ			●
19 FOL 1 06	フランス語Ⅱ			●
19 FOL 1 07	韓国語Ⅰ			●
19 FOL 1 08	韓国語Ⅱ			●
19 FOL 1 09	中国語Ⅰ			●
19 FOL 1 10	中国語Ⅱ			●
19 FOL 2 01	英語Ⅲ			●
19 FOL 2 02	英語Ⅳ			●
19 FOL 2 03	ドイツ語Ⅲ			●
19 FOL 2 04	ドイツ語Ⅳ			●
19 FOL 2 05	フランス語Ⅲ			●
19 FOL 2 06	フランス語Ⅳ			●
19 FOL 2 07	韓国語Ⅲ			●
19 FOL 2 08	韓国語Ⅳ			●
19 FOL 2 09	中国語Ⅲ			●
19 FOL 2 10	中国語Ⅳ			●
19 FOL 2 11	英語と文化			●
19 FOL 2 12	海外事情			●
19 FOL 2 13	ドイツ語と文化			●
19 FOL 2 14	フランス語と文化			●
19 FOL 2 15	中国語と文化			●
19 FOL 2 16	韓国語と文化			●
19 FOL 3 01	上級英語Ⅰ			●
19 FOL 3 02	上級英語Ⅱ			●
19 FOL 3 03	上級ドイツ語Ⅰ			●
19 FOL 3 04	上級ドイツ語Ⅱ			●
19 FOL 3 05	上級フランス語Ⅰ			●
19 FOL 3 06	上級フランス語Ⅱ			●
19 FOL 3 07	上級中国語Ⅰ			●
19 FOL 3 08	上級中国語Ⅱ			●
19 FOL 3 09	上級韓国語Ⅰ			●
19 FOL 3 10	上級韓国語Ⅱ			●
19 FOL 4 01	外国語演習Ⅰ			●
19 FOL 4 02	外国語演習Ⅱ			●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 FOL 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

国際交流関係科目 カリキュラム・マップ

(2019~2023年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	キリスト教による人格教育を基礎として、自由・平等・平和の心を得て、知識と知恵を兼ね備えた豊かな『人間性』を有するようになること。		
	DP2	人々とともに生きる心を養い、主体性のある真の教養を身につけ、広く社会に貢献することができる『社会性』を持ちつづけることができるようになること。		
	DP3	様々な国の人々と心を開いて交流し、異なる文化を理解する国際的視野と判断力を身につけた『国際性』を発揮することができるようになること。		
19 INT 1 01	日本のサブカルチャー			●
19 INT 1 02	日本の歴史〔国際〕			●
19 INT 1 03	日本の社会〔国際〕			●
19 INT 1 04	日本社会における言語とジェンダー〔国際〕			●
19 INT 1 05	日本の金融と経済〔国際〕			●
19 INT 1 06	マネジメント論〔国際〕			●
19 INT 1 07	日米(経済)関係〔国際〕			●
19 INT 1 08	国際経済〔国際〕			●
19 INT 1 09	日欧(経済)関係〔国際〕			●
19 INT 1 10	比較文化〔国際〕			●
19 INT 1 11	日韓比較文化論			●
19 INT 1 12	メディア論〔国際〕			●
19 INT 1 13	コミュニケーション論〔国際〕			●
19 INT 1 14	環境経済			●
19 INT 1 15	国際交流特別講義A			●
19 INT 1 16	国際交流特別講義B			●
19 INT 1 17	国際交流特別講義C			●
19 INT 1 18	国際交流特別講義D			●
19 INT 1 19	国際交流特別講義K			●
19 INT 1 20	国際交流特別講義L			●
19 INT 1 21	国際交流特別講義E			●
19 INT 1 22	国際交流特別講義F			●
19 INT 1 23	国際交流特別講義G			●
19 INT 1 24	国際交流特別講義H			●
19 INT 1 25	国際交流特別講義I			●
19 INT 1 26	国際交流特別講義J			●
19 INT 2 01	日本語教授法I			●
19 INT 2 02	日本語教授法II			●
19 INT 2 03	Academic skills for Study Abroad			●
19 INT 3 01	日本の文学〔国際〕			●
19 INT 3 02	日本の文化〔国際〕			●
19 INT 3 03	日本語教授法III			●

【ナンバリングについて】

教育課程(カリキュラム)における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にして下さい。

(例)

19 INT 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

教職課程科目 カリキュラム・マップ

(2019～2021年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	人を育てる活動に対する情熱や目的意識をいつまでも持ち続けることができ、自分を愛するよう に児童・生徒や保護者に寄り添い、理解し、連携することに努力を惜しまない教師。		
	DP2	教科専門に関する学問的知識や教育的指導力の研鑽に努め、教師としての教養や技能・実践力を 身につけ、責務の自覚を兼ね備えた教師。		
	DP3	総合的な人間力としての主体性や積極性・行動力を発揮し、コミュニケーション能力を駆使し て、チームワークや協調性を大切に、社会に貢献する独立人としての教師。		
19 TEC 1 01	教育学	●		
19 TEC 1 02	教職入門	●		
19 TEC 2 01	教育行政論			●
19 TEC 2 02	教育心理学	●		●
19 TEC 2 03	特別支援教育概論	●	●	
19 TEC 2 04	道徳教育の理論と実践	●		●
19 TEC 2 05	特別活動・総合的な学習時間の指導法	●		●
19 TEC 2 06	教育方法論		●	
19 TEC 2 07	教育相談論	●		●
19 TEC 3 01	英語科教育法Ⅰ		●	
19 TEC 3 02	英語科教育法Ⅱ		●	
19 TEC 3 03	社会科教育法Ⅰ（地理歴史）		●	
19 TEC 3 04	社会科教育法Ⅱ（公民）		●	
19 TEC 3 05	地理歴史科教育法		●	
19 TEC 3 06	公民科教育法		●	
19 TEC 3 07	商業科教育法Ⅰ		●	
19 TEC 3 08	商業科教育法Ⅱ		●	
19 TEC 3 09	情報科教育法Ⅰ		●	
19 TEC 3 10	情報科教育法Ⅱ		●	
19 TEC 3 11	英語科教育実践指導Ⅰ		●	
19 TEC 3 12	英語科教育実践指導Ⅱ		●	
19 TEC 3 13	社会科教育実践指導Ⅰ		●	
19 TEC 3 14	社会科教育実践指導Ⅱ		●	
19 TEC 3 15	教育史	●		
19 TEC 3 16	教育社会学			●
19 TEC 3 17	生徒・進路指導の理論と実践	●		●
19 TEC 4 01	教育実習事前事後指導	●	●	●
19 TEC 4 02	教育実習Ⅰ（中学校）	●	●	●
19 TEC 4 03	教育実習Ⅱ（高等学校）	●	●	●
19 TEC 4 04	教職実践演習（中・高）	●	●	●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にして
ください。

(例)

19 TEC 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

教職課程科目 カリキュラム・マップ

(2022～2023年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	人を育てる活動に対する情熱や目的意識をいつまでも持ち続けることができ、自分を愛するように児童・生徒や保護者に寄り添い、理解し、連携することに努力を惜しまない教師。		
	DP2	教科専門に関する学問的知識や教育的指導力の研鑽に努め、教師としての教養や技能・実践力を身につけ、責務の自覚を兼ね備えた教師。		
	DP3	総合的な人間力としての主体性や積極性・行動力を発揮し、コミュニケーション能力を駆使して、チームワークや協調性を大切にし、社会に貢献する独立人としての教師。		
22 TEC 1 01	教育学	●		
22 TEC 1 02	教職入門	●		
22 TEC 2 01	教育行政論			●
22 TEC 2 02	教育心理学	●		●
22 TEC 2 03	特別支援教育概論	●	●	
22 TEC 2 04	道德教育の理論と実践	●		●
22 TEC 2 05	特別活動・総合的な学習時間の指導法	●		●
22 TEC 2 06	教育方法・情報通信技術論		●	
22 TEC 2 07	教育相談論	●		●
22 TEC 3 01	英語科教育法Ⅰ		●	
22 TEC 3 02	英語科教育法Ⅱ		●	
22 TEC 3 03	社会科教育法Ⅰ（地理歴史）		●	
22 TEC 3 04	社会科教育法Ⅱ（公民）		●	
22 TEC 3 05	地理歴史科教育法		●	
22 TEC 3 06	公民科教育法		●	
22 TEC 3 07	商業科教育法Ⅰ		●	
22 TEC 3 08	商業科教育法Ⅱ		●	
22 TEC 3 09	情報科教育法Ⅰ		●	
22 TEC 3 10	情報科教育法Ⅱ		●	
22 TEC 3 11	英語科教育実践指導Ⅰ		●	
22 TEC 3 12	英語科教育実践指導Ⅱ		●	
22 TEC 3 13	社会科教育実践指導Ⅰ		●	
22 TEC 3 14	社会科教育実践指導Ⅱ		●	
22 TEC 3 15	教育史	●		
22 TEC 3 16	教育社会学			●
22 TEC 3 17	生徒・進路指導の理論と実践	●		●
22 TEC 4 01	教育実習事前事後指導	●	●	●
22 TEC 4 02	教育実習Ⅰ（中学校）	●	●	●
22 TEC 4 03	教育実習Ⅱ（高等学校）	●	●	●
22 TEC 4 04	教職実践演習（中・高）	●	●	●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

22 TEC 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

文学部 英文学科 カリキュラム・マップ

(2019~2022年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	リンガフランクである英語に関する豊かな知識と実践的な英語力		
	DP2	「大学共通科目」の履修によって得られた幅広い視野をもとに、英語とその背景にある文化や歴史に対する知識と洞察力		
	DP3	行動の基軸としている自国の文化について深く理解し、地域・国際社会において文化の架け橋として創造的に活躍するための異文化コミュニケーション能力		
19 ENG 1 01	Basic Speaking I	●		
19 ENG 1 02	Basic Speaking II	●		
19 ENG 1 03	Basic Reading I	●		
19 ENG 1 04	Basic Reading II	●		
19 ENG 1 05	Basic Composition I	●		
19 ENG 1 06	Basic Composition II	●		
19 ENG 1 07	英文法クリニック	●		
19 ENG 1 08	基礎演習 I	●		
19 ENG 1 09	イギリス文学概論	●	●	
19 ENG 1 10	アメリカ文学概論	●	●	
19 ENG 1 11	Introduction to Fiction Writing	●	●	
19 ENG 1 12	演劇概論		●	●
19 ENG 1 13	Introduction to English Linguistics	●		
19 ENG 1 14	応用言語学概論	●		
19 ENG 1 15	英語コミュニケーション概論	●		●
19 ENG 1 16	Introduction to Digital Media	●		●
19 ENG 1 17	社会言語学概論	●	●	
19 ENG 1 18	グローバル・スタディーズ概論	●	●	
19 ENG 1 19	異文化コミュニケーション概論 I		●	●
19 ENG 1 20	異文化コミュニケーション概論 II		●	●
19 ENG 1 21	English Practicum I	●		●
19 ENG 1 22	Overseas English Experience I	●		●
19 ENG 1 23	英語科教育概説 I	●		●
19 ENG 1 24	英語文学論	●	●	
19 ENG 1 25	Overseas English Studies I	●		●
19 ENG 1 26	海外英語短期研修	●		●
19 ENG 1 27	Overseas English Studies I	●		●
19 ENG 1 28	海外英語短期研修	●		●
19 ENG 2 01	Academic Communication I	●		
19 ENG 2 02	Academic Communication II	●		
19 ENG 2 03	Academic Reading I	●		
19 ENG 2 04	Academic Reading II	●		
19 ENG 2 05	Academic Essay I	●		
19 ENG 2 06	Academic Essay II	●		
19 ENG 2 07	基礎演習 II	●		
19 ENG 2 08	English Practicum II	●		●
19 ENG 2 09	Overseas English Experience II	●		●
19 ENG 2 10	海外プロジェクト研修 I	●		●
19 ENG 2 11	海外プロジェクト研修 II	●		●
19 ENG 2 12	現代英語の音声と文法	●		
19 ENG 2 13	インタラクション活動指導法	●		●
19 ENG 2 14	日本語教授法 I			●
19 ENG 2 15	日本語教授法 II			●
19 ENG 2 16	Public Speaking	●		

19	ENG	2	17	Presentation Skills	●		
19	ENG	2	18	通訳法Ⅰ	●	●	●
19	ENG	2	19	通訳法Ⅱ	●	●	●
19	ENG	2	20	翻訳法AⅠ	●	●	●
19	ENG	2	21	翻訳法BⅠ	●	●	●
19	ENG	2	22	翻訳法AⅡ	●	●	●
19	ENG	2	23	翻訳法BⅡ	●	●	●
19	ENG	2	24	Oral InterpretationⅠ	●		
19	ENG	2	25	Oral InterpretationⅡ	●		
19	ENG	2	26	Overseas English StudiesⅡ	●		●
19	ENG	3	01	Discussion and DebateⅠ	●		
19	ENG	3	02	Discussion and DebateⅡ	●		
19	ENG	3	03	英米史A	●	●	
19	ENG	3	04	英米史B	●	●	
19	ENG	3	05	欧米文化論A	●	●	
19	ENG	3	06	欧米文化論B	●	●	
19	ENG	3	07	欧米文化論C	●	●	
19	ENG	3	08	欧米文化論D	●	●	
19	ENG	3	09	キリスト教と文学		●	●
19	ENG	3	10	English PracticumⅢ	●		●
19	ENG	3	11	Overseas English ExperienceⅢ	●		●
19	ENG	3	12	英米文学史A	●	●	
19	ENG	3	13	英米文学史B	●	●	
19	ENG	3	14	イギリス小説研究A	●	●	
19	ENG	3	15	イギリス小説研究B	●	●	
19	ENG	3	16	アメリカ小説研究A	●	●	
19	ENG	3	17	アメリカ小説研究B	●	●	
19	ENG	3	18	英米詩研究A	●	●	
19	ENG	3	19	英米詩研究B	●	●	
19	ENG	3	20	演劇研究A	●	●	●
19	ENG	3	21	演劇研究B	●	●	●
19	ENG	3	22	専門演習Ⅰ	●		●
19	ENG	3	23	専門演習Ⅱ	●		●
19	ENG	3	24	言語学	●		
19	ENG	3	25	英語史	●		
19	ENG	3	26	英語学研究A	●		
19	ENG	3	27	英語学研究B	●		
19	ENG	3	28	英語学研究C	●		
19	ENG	3	29	英語学研究D	●		
19	ENG	3	30	英語学研究E	●		
19	ENG	3	31	英語学研究F	●		
19	ENG	3	32	専門演習Ⅰ	●		●
19	ENG	3	33	専門演習Ⅱ	●		●
19	ENG	3	34	グローバル・イシューズ	●	●	●
19	ENG	3	35	グローバル・アクターズ	●	●	●
19	ENG	3	36	インターナショナル・スタディーズ	●	●	●
19	ENG	3	37	統計実習	●		●
19	ENG	3	38	Social Media Research	●	●	●
19	ENG	3	39	Cross-cultural Psychology	●	●	●
19	ENG	3	40	異文化コミュニケーション研究A	●	●	●
19	ENG	3	41	異文化コミュニケーション研究B	●	●	●
19	ENG	3	42	専門演習Ⅰ	●		●
19	ENG	3	43	専門演習Ⅱ	●		●
19	ENG	3	44	第二言語習得論	●		

19	ENG	3	45	児童英語教育実践指導	●		●
19	ENG	3	46	英語科教育概説II	●		●
19	ENG	3	47	日本語教授法III			●
19	ENG	3	48	Japanese Literature			●
19	ENG	3	49	Japanese Culture			●
19	ENG	3	50	Creative Writing I	●		
19	ENG	3	51	Creative Writing II	●		
19	ENG	3	52	通訳法III	●	●	●
19	ENG	3	53	通訳法IV	●	●	●
19	ENG	3	54	翻訳法III	●	●	●
19	ENG	3	55	翻訳法IV	●	●	●
19	ENG	3	56	English Workshop A (TOEFL対策)	●		
19	ENG	3	57	English Workshop B (TOEIC対策)	●		
19	ENG	3	58	Online English	●	●	●
19	ENG	3	59	English for Tourist Industry	●	●	●
19	ENG	3	60	English for Global Business	●	●	●
19	ENG	3	61	Speech Clinic	●	●	●
19	ENG	3	62	Multi-Media English	●	●	●
19	ENG	3	63	Journalism English	●	●	●
19	ENG	4	01	English PracticumIV	●		●
19	ENG	4	02	Overseas English ExperienceIV	●		●
19	ENG	4	03	専門演習III	●		●
19	ENG	4	04	専門演習IV	●		●
19	ENG	4	05	卒業研究I	●		●
19	ENG	4	06	卒業研究II	●		●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 ENG 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

文学部 英文学科 カリキュラム・マップ

(2023年度以降入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	リンガフランカである英語に関する豊かな知識と実践的な英語力		
	DP2	「大学共通科目」の履修によって得られた幅広い視野をもとに、英語とその背景にある文化や歴史に対する知識と洞察力		
	DP3	行動の基軸としている自国の文化について深く理解し、地域・国際社会において文化の架け橋として創造的に活躍するための異文化コミュニケーション能力		
23 ENG 1 01	Basic Speaking I	●		
23 ENG 1 02	Basic Speaking II	●		
23 ENG 1 03	Basic Reading I	●		
23 ENG 1 04	Basic Reading II	●		
23 ENG 1 05	Basic Composition I	●		
23 ENG 1 06	Basic Composition II	●		
23 ENG 1 07	英文法クリニック	●		
23 ENG 1 08	基礎演習 I	●	●	●
23 ENG 1 09	イギリス文学概論	●	●	
23 ENG 1 10	アメリカ文学概論	●	●	
23 ENG 1 11	Introduction to Fiction Writing	●	●	
23 ENG 1 12	演劇概論		●	●
23 ENG 1 13	Introduction to English Linguistics	●		
23 ENG 1 14	応用言語学概論	●		
23 ENG 1 15	Introduction to Bilingualism	●		●
23 ENG 1 16	Introduction to Digital Media	●		●
23 ENG 1 17	社会言語学概論	●	●	
23 ENG 1 18	Introduction to Global Studies	●	●	●
23 ENG 1 19	異文化コミュニケーション概論 I		●	●
23 ENG 1 20	異文化コミュニケーション概論 II		●	●
23 ENG 1 21	Introduction to International Business	●		●
23 ENG 1 22	Introduction to International Cooperation	●	●	●
23 ENG 1 23	Introduction to Japanese Society	●		●
23 ENG 1 24	Language and Gender in Japanese Society	●		●
23 ENG 1 25	Introduction to Japanese Finance and Economy	●		●
23 ENG 1 26	Management	●		●
23 ENG 1 27	International Economics	●		●
23 ENG 1 28	Economic Relations between Japan & America after World War II	●	●	
23 ENG 1 29	Economic Relations between Japan & Europe after World War II	●	●	
23 ENG 1 30	Comparative Culture	●		●
23 ENG 1 31	Media Studies	●		●
23 ENG 1 32	Communication	●		●
23 ENG 1 33	Special Lecture on International Exchange B	●	●	●
23 ENG 1 34	Special Lecture on International Exchange C	●	●	●
23 ENG 1 35	Special Lecture on International Exchange D	●	●	●
23 ENG 1 36	Special Lecture on International Exchange E	●	●	●
23 ENG 1 37	Special Lecture on International Exchange F	●	●	●
23 ENG 1 38	Special Lecture on International Exchange G	●	●	●
23 ENG 1 39	English Practicum I	●		●
23 ENG 1 40	Overseas English Studies I	●		●
23 ENG 1 41	Overseas English Experience I	●		●
23 ENG 1 42	海外英語短期研修	●		●
23 ENG 1 43	英語科教育概説 I	●		●
23 ENG 1 44	英語文学論	●	●	

23	ENG	2	01	Academic Communication I	●		
23	ENG	2	02	Academic Communication II	●		
23	ENG	2	03	Academic Reading I	●		
23	ENG	2	04	Academic Reading II	●		
23	ENG	2	05	Academic Essay I	●		
23	ENG	2	06	Academic Essay II	●		
23	ENG	2	07	Public Speaking	●		
23	ENG	2	08	Presentation Skills	●		
23	ENG	2	09	通訳法 I	●	●	●
23	ENG	2	10	通訳法 II	●	●	●
23	ENG	2	11	翻訳法 A I	●	●	●
23	ENG	2	12	翻訳法 B I	●	●	●
23	ENG	2	13	翻訳法 A II	●	●	●
23	ENG	2	14	翻訳法 B II	●	●	●
23	ENG	2	15	Oral Interpretation I	●		
23	ENG	2	16	Oral Interpretation II	●		
23	ENG	2	17	基礎演習 II	●	●	●
23	ENG	2	18	British & American History A	●	●	
23	ENG	2	19	British & American History B	●	●	
23	ENG	2	20	American & European Culture A	●	●	
23	ENG	2	21	American & European Culture B	●	●	
23	ENG	2	22	Global Society A	●		●
23	ENG	2	23	Global Society B	●		●
23	ENG	2	24	キリスト教と文学	●	●	
23	ENG	2	25	Understanding Data and Statistics	●		●
23	ENG	2	26	English Practicum II	●		●
23	ENG	2	27	Overseas English Studies II	●		●
23	ENG	2	28	Overseas English Experience II	●		●
23	ENG	2	29	海外プロジェクト研修 I	●		●
23	ENG	2	30	現代英語の音声と文法	●		
23	ENG	2	31	インタラクティブ活動指導法	●		●
23	ENG	2	32	日本語教授法 I			●
23	ENG	2	33	日本語教授法 II			●
23	ENG	3	01	Discussion and Debate I	●		
23	ENG	3	02	Discussion and Debate II	●		
23	ENG	3	03	Creative Writing I	●		●
23	ENG	3	04	Creative Writing II	●		●
23	ENG	3	05	通訳法 III	●	●	●
23	ENG	3	06	通訳法 IV	●	●	●
23	ENG	3	07	翻訳法 III	●	●	●
23	ENG	3	08	翻訳法 IV	●	●	●
23	ENG	3	09	English Workshop A〔TOEFL対策〕	●		
23	ENG	3	10	English Workshop B〔TOEIC対策〕	●		
23	ENG	3	11	Online English	●		●
23	ENG	3	12	English for Tourist Industry	●		●
23	ENG	3	13	English for Global Business	●		●
23	ENG	3	14	Speech Clinic	●		●
23	ENG	3	15	Multi-Media English	●		●
23	ENG	3	16	Journalism English	●		●
23	ENG	3	17	English Practicum III	●		●
23	ENG	3	18	Overseas English Experience III	●		●
23	ENG	3	19	海外プロジェクト研修 II	●		●
23	ENG	3	20	英米文学史 A	●	●	
23	ENG	3	21	英米文学史 B	●	●	

23	ENG	3	22	イギリス小説研究 A	●	●	
23	ENG	3	23	イギリス小説研究 B	●	●	
23	ENG	3	24	アメリカ小説研究 A	●	●	
23	ENG	3	25	アメリカ小説研究 B	●	●	
23	ENG	3	26	英米詩研究 A	●	●	
23	ENG	3	27	英米詩研究 B	●	●	
23	ENG	3	28	演劇研究 A	●	●	
23	ENG	3	29	演劇研究 B	●	●	
23	ENG	3	30	専門演習 I	●	●	●
23	ENG	3	31	専門演習 II	●	●	●
23	ENG	3	32	言語学	●		●
23	ENG	3	33	英語史	●	●	
23	ENG	3	34	英語学研究 A	●		
23	ENG	3	35	英語学研究 B	●		
23	ENG	3	36	英語学研究 C	●		
23	ENG	3	37	英語学研究 D	●		
23	ENG	3	38	英語学研究 E	●		
23	ENG	3	39	英語学研究 F	●		
23	ENG	3	40	Global Issues	●	●	●
23	ENG	3	41	Global Actors	●	●	●
23	ENG	3	42	International Studies	●	●	●
23	ENG	3	43	Social Media Research	●	●	●
23	ENG	3	44	Cross-cultural Psychology	●	●	●
23	ENG	3	45	Intercultural Communication A	●	●	●
23	ENG	3	46	Intercultural Communication B	●	●	●
23	ENG	3	47	International Business	●		●
23	ENG	3	48	International Cooperation	●	●	●
23	ENG	3	49	第二言語習得論	●		●
23	ENG	3	50	児童英語教育実践指導	●		●
23	ENG	3	51	英語科教育概説 II	●		●
23	ENG	3	52	日本語教授法 III			●
23	ENG	3	53	Japanese Literature	●	●	
23	ENG	3	54	Japanese Culture	●	●	
23	ENG	4	01	English Practicum IV	●		●
23	ENG	4	02	Overseas English Experience IV	●		●
23	ENG	4	03	専門演習 III	●	●	●
23	ENG	4	04	専門演習 IV	●	●	●
23	ENG	4	05	卒業研究 I	●	●	●
23	ENG	4	06	卒業研究 II	●	●	●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

23 ENG 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下 2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応			
		DP1	DP2	DP3	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	心理学の知見に基づいて人間の振る舞いを理解するとともに、自身の振る舞いを調節できる。			
	DP2	さまざまなコミュニケーションの在り方を知り、地域や幅広い社会でのコミュニケーションの活性化に寄与することができる。			
	DP3	多様な人々との相互理解と協働が求められる状況の中で、目的の達成に向けて自ら行動し問題を発見することができる。			
	DP4	現場で生じる問題に対し、世の中を広く多角的に見渡す力（空間的センス）と物事を長期的・因果的に考える力（時間的センス）の両面から専門的知識を運用し、解決に向けて柔軟かつ適切に行動することができる。			
19 PAC 1 01	心理科学概論	●			
19 PAC 1 02	地域国際概論		●		
19 PAC 1 03	演劇概論				●
19 PAC 1 04	コミュニケーション科学Ⅰ	●	●		
19 PAC 1 05	コミュニケーション科学Ⅱ		●		
19 PAC 1 06	統計法基礎				●
19 PAC 1 07	現代社会学			●	
19 PAC 1 08	基礎演習			●	●
19 PAC 1 09	English Communication I		●		
19 PAC 1 10	English Practicum I		●		
19 PAC 1 11	Overseas English Experience I		●		
19 PAC 1 12	異文化コミュニケーション概論Ⅰ		●		
19 PAC 1 13	異文化コミュニケーション概論Ⅱ		●		
19 PAC 1 14	経済学入門				●
19 PAC 1 15	科学的研究法基礎実習			●	●
19 PAC 1 16	Overseas English Studies I		●		
19 PAC 1 17	海外英語短期研修		●		
19 PAC 1 18	English as a global language		●		
19 PAC 1 19	憲法Ⅰ〔人権〕				●
19 PAC 2 01	心理統計法	●			
19 PAC 2 02	音楽心理学	●			
19 PAC 2 03	感情心理学	●			
19 PAC 2 04	心理科学研究法	●			
19 PAC 2 05	対人行動論	●			
19 PAC 2 06	認知心理学	●			
19 PAC 2 07	産業心理学	●			
19 PAC 2 08	学習心理学	●			
19 PAC 2 09	スポーツ心理学	●			
19 PAC 2 10	教育心理学	●			
19 PAC 2 11	生涯発達心理学	●			
19 PAC 2 12	心理言語学	●			
19 PAC 2 13	学校心理学	●			
19 PAC 2 14	コミュニティ心理学	●			
19 PAC 2 15	インタビュー・ルポルタージュ技法		●		●
19 PAC 2 16	国際教育論		●		
19 PAC 2 17	現代教育論			●	
19 PAC 2 18	国際社会論		●		
19 PAC 2 19	映像技術演習Ⅰ			●	●
19 PAC 2 20	映像技術演習Ⅱ			●	●
19 PAC 2 21	翻訳法BⅠ			●	

19	PAC	2	22	翻訳法B II				●	
19	PAC	2	23	マスコミュニケーション論			●		
19	PAC	2	24	メディアコミュニケーション			●		
19	PAC	2	25	地域コミュニティ論			●		
19	PAC	2	26	フィールド実習 I				●	●
19	PAC	2	27	フィールド実習 II				●	●
19	PAC	2	28	English Communication II			●		
19	PAC	2	29	English Communication III			●		
19	PAC	2	30	English Practicum II			●		
19	PAC	2	31	Overseas English Experience II			●		
19	PAC	2	32	海外プロジェクト研修 I			●		
19	PAC	2	33	日本史 I (前近代)					●
19	PAC	2	34	日本史 II (近現代)					●
19	PAC	2	35	地理学					●
19	PAC	2	36	自然地理学					●
19	PAC	2	37	現代政治学			●		
19	PAC	2	38	現代哲学			●		
19	PAC	2	39	宗教学			●		
19	PAC	2	40	国際政治学			●		
19	PAC	2	41	国際経済学 I			●		
19	PAC	2	42	国際経済学 II			●		
19	PAC	2	43	心理学実験	●				
19	PAC	2	44	社会調査法			●	●	
19	PAC	2	45	Overseas English Studies II			●		
19	PAC	2	46	世界史 I					●
19	PAC	2	47	世界史 II					●
19	PAC	2	48	地誌概説					●
19	PAC	2	49	憲法 II (統治機構)					●
19	PAC	3	01	時事社会研究			●		
19	PAC	3	02	英語メディア研究				●	
19	PAC	3	03	地域社会論			●		
19	PAC	3	04	English Debate			●		
19	PAC	3	05	プレゼンテーション演習	●		●		
19	PAC	3	06	English Practicum III			●		
19	PAC	3	07	Overseas English Experience III			●		
19	PAC	3	08	海外プロジェクト研修 II			●		
19	PAC	3	09	野外活動演習				●	●
19	PAC	3	10	心理学特殊実習	●		●		
19	PAC	3	11	地域学習実習			●	●	●
19	PAC	3	12	Online English			●		
19	PAC	3	13	English for Tourist Industry			●		
19	PAC	3	14	欧米文化論A			●		
19	PAC	3	15	欧米文化論B			●		
19	PAC	3	16	欧米文化論C			●		
19	PAC	3	17	欧米文化論D			●		
19	PAC	3	18	英米史A			●		
19	PAC	3	19	英米史B			●		
19	PAC	3	20	プロジェクト実習				●	●
19	PAC	3	21	専門演習 I				●	●
19	PAC	3	22	社会思想史			●		
19	PAC	4	01	English Practicum IV			●		
19	PAC	4	01	Overseas English Experience IV			●		
19	PAC	4	01	専門演習 II				●	●
19	PAC	4	01	専門演習 III				●	●

19	PAC	4	01	卒業研究Ⅰ			●	●
19	PAC	4	01	卒業研究Ⅱ			●	●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 PAC 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
 ① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応			
		DP1	DP2	DP3	DP4
ディプロマ・ポリシー	DP1	心理学の知見に基づいて人間の振る舞いを理解するとともに、自身の振る舞いを調節することができる。			
	DP2	さまざまなコミュニケーションの在り方を知り、地域や幅広い社会でのコミュニケーションの活性化に寄与することができる。			
	DP3	多様な人々との相互理解と協働が求められる状況の中で、目的の達成に向けて自ら行動し問題を発見することができる。			
	DP4	現場で生じる問題に対し、世の中を広く多角的に見渡す力（空間的センス）と物事を長期的・因果的に考える力（時間的センス）の両面から専門的知識を運用し、解決に向けて柔軟かつ適切に行動することができる。			
23 PAC 1 01	心理科学概論	●			
23 PAC 1 02	地域国際概論		●		
23 PAC 1 03	演劇概論				●
23 PAC 1 04	コミュニケーション科学Ⅰ	●	●		
23 PAC 1 05	コミュニケーション科学Ⅱ		●		
23 PAC 1 06	統計法基礎				●
23 PAC 1 07	現代社会学			●	
23 PAC 1 08	基礎演習			●	●
23 PAC 1 09	科学的研究法基礎実習			●	●
23 PAC 1 10	English as a Global Language		●		
23 PAC 1 11	異文化コミュニケーション概論Ⅰ		●		
23 PAC 1 12	異文化コミュニケーション概論Ⅱ		●		
23 PAC 1 13	English CommunicationⅠ		●		
23 PAC 1 14	English PracticumⅠ		●		
23 PAC 1 15	Overseas English StudiesⅠ		●		
23 PAC 1 16	Overseas English ExperienceⅠ		●		
23 PAC 1 17	海外英語短期研修		●		
23 PAC 1 18	憲法Ⅰ〔人権〕				●
23 PAC 1 19	経済学入門				●
23 PAC 2 01	心理統計法	●			
23 PAC 2 02	心理科学研究法	●			
23 PAC 2 03	心理科学実験	●			
23 PAC 2 04	音楽心理学	●			
23 PAC 2 05	感情心理学	●			
23 PAC 2 06	対人行動論	●			
23 PAC 2 07	認知心理学	●			
23 PAC 2 08	産業心理学	●			
23 PAC 2 09	学習心理学	●			
23 PAC 2 10	スポーツ心理学	●			
23 PAC 2 11	教育心理学	●			
23 PAC 2 12	生涯発達心理学	●			
23 PAC 2 13	心理言語学	●			
23 PAC 2 14	学校心理学	●			
23 PAC 2 15	コミュニティ心理学	●			
23 PAC 2 16	インタビュー・ルポルタージュ技法		●		●
23 PAC 2 17	社会調査法		●	●	
23 PAC 2 18	映像技術演習Ⅰ			●	●
23 PAC 2 19	映像技術演習Ⅱ			●	●
23 PAC 2 20	国際教育論		●		
23 PAC 2 21	現代教育論			●	

23	PAC	2	22	国際社会論		●		
23	PAC	2	23	地域コミュニティ論		●		
23	PAC	2	24	マスコミュニケーション論		●		
23	PAC	2	25	メディアコミュニケーション		●		
23	PAC	2	26	翻訳法BⅠ			●	
23	PAC	2	27	翻訳法BⅡ			●	
23	PAC	2	28	フィールド実習Ⅰ			●	●
23	PAC	2	29	フィールド実習Ⅱ			●	●
23	PAC	2	30	海外プロジェクト研修Ⅰ		●		
23	PAC	2	31	English CommunicationⅡ		●		
23	PAC	2	32	English CommunicationⅢ		●		
23	PAC	2	33	English PracticumⅡ		●		
23	PAC	2	34	Overseas English StudiesⅡ		●		
23	PAC	2	35	Overseas English ExperienceⅡ		●		
23	PAC	2	36	日本史Ⅰ〔前近代〕				●
23	PAC	2	37	日本史Ⅱ〔近現代〕				●
23	PAC	2	38	世界史				●
23	PAC	2	39	地理学				●
23	PAC	2	40	自然地理学				●
23	PAC	2	41	地誌概説				●
23	PAC	2	42	現代政治学		●		
23	PAC	2	43	現代哲学		●		
23	PAC	2	44	宗教学		●		
23	PAC	2	45	憲法Ⅱ〔統治機構〕				●
23	PAC	3	01	プロジェクト実習			●	●
23	PAC	3	02	専門演習Ⅰ			●	●
23	PAC	3	03	時事社会研究		●		
23	PAC	3	04	英語メディア研究			●	
23	PAC	3	05	地域社会論		●		
23	PAC	3	06	プレゼンテーション演習	●	●		
23	PAC	3	07	野外活動演習			●	●
23	PAC	3	08	心理学特殊実習	●	●		
23	PAC	3	09	地域学習実習		●	●	●
23	PAC	3	10	海外プロジェクト研修Ⅱ		●		
23	PAC	3	11	English Debate		●		
23	PAC	3	12	English PracticumⅢ		●		
23	PAC	3	13	Overseas English ExperienceⅢ		●		
23	PAC	3	14	Online English		●		
23	PAC	3	15	English for Tourist Industry		●		
23	PAC	3	16	American & European Culture A		●		
23	PAC	3	17	American & European Culture B		●		
23	PAC	3	18	Global Society A		●		
23	PAC	3	19	Global Society B		●		
23	PAC	3	20	British & American History A		●		
23	PAC	3	21	British & American History B		●		
23	PAC	3	22	社会思想史		●		
23	PAC	3	23	国際政治学		●		
23	PAC	3	24	国際経済学Ⅰ		●		
23	PAC	3	25	国際経済学Ⅱ		●		

23	PAC	4	01	専門演習 II			●	●
23	PAC	4	02	専門演習 III			●	●
23	PAC	4	03	卒業研究 I			●	●
23	PAC	4	04	卒業研究 II			●	●
23	PAC	4	05	English Practicum IV		●		
23	PAC	4	06	Overseas English Experience IV		●		

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

23 PAC 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
 ① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

ディプロマ・ポリシー	DP1	高度の体系的性を備えた社会科学としての経済学を学び、経済学的思考を自らのものとするを通じて、経済・社会への確かな視座を獲得することができる。更に、理論を体系的に積み上げて理解し、これを踏まえて現実の経済・社会を把握するという学問的視点を身に着けることができる。			
	DP2	経済・社会を認識する上で、国と国との国際関係はもとより、国家の枠組みを超えたグローバルな社会連関をも視野に入れ、国内の問題や身近な地域の諸問題に至るまでグローバルな視点から捉えることができる。			
	DP3	必修科目である「新聞活用」や「上級新聞活用」、そして「時事英語」、更には現職ジャーナリストなどによる講義の受講を通じて、とりわけマスメディアを中心としたメディア・リテラシーを身に着けることができ、併せて経済学を始めとする社会科学の諸領域において広範且つ多様な情報環境においても言説の当否を見極める力量を備えることができる。			
	DP4	教職課程の科目を併せて履修する者は、経済学科の専門科目における体系的な学びを通じて、教科に関する幅広い知識を獲得することができるだけでなく、経済学の体系的な知見と学問的な基礎力及び見識を身に着け、教育者としての職業人生の長い道のりの中で遭遇するであろう様々な経済・社会の変化や学問的進歩に適確に対応し、授業を絶えず進化させる力量を身に着けることができる。			
ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応			
		DP1	DP2	DP3	DP4
19 ECO 1 01	経済学入門	●	●	●	
19 ECO 1 02	新聞活用			●	
19 ECO 1 03	経済数学	●			
19 ECO 1 04	基礎経済史	●			●
19 ECO 1 05	現代の国際社会		●		
19 ECO 1 06	基礎経済学	●			
19 ECO 1 07	会計入門	●			
19 ECO 1 08	簿記原理Ⅰ	●			
19 ECO 2 01	ミクロ経済学Ⅰ	●			●
19 ECO 2 02	ミクロ経済学Ⅱ	●			●
19 ECO 2 03	マクロ経済学Ⅰ	●			●
19 ECO 2 04	マクロ経済学Ⅱ	●			●
19 ECO 2 05	経済統計学Ⅰ	●			
19 ECO 2 06	経済統計学Ⅱ	●			
19 ECO 2 07	社会経済学Ⅰ	●			●
19 ECO 2 08	社会経済学Ⅱ	●			●
19 ECO 2 09	社会経済史	●			●
19 ECO 2 10	現代資本主義論	●			
19 ECO 2 11	国際関係論Ⅰ		●		●
19 ECO 2 12	国際関係論Ⅱ		●		●
19 ECO 2 13	グローバル社会論Ⅰ		●		
19 ECO 2 14	グローバル社会論Ⅱ		●		
19 ECO 2 15	演習Ⅰ	●	●	●	
19 ECO 2 16	演習Ⅱ	●	●	●	
19 ECO 2 17	上級新聞活用			●	
19 ECO 2 18	海外実習Ⅰ		●		
19 ECO 2 19	中小企業論	●			
19 ECO 2 20	日本史Ⅰ〔前近代〕	●			●
19 ECO 2 21	日本史Ⅱ〔近代〕	●			●
19 ECO 2 22	地理学	●			●
19 ECO 2 23	自然地理学	●			●
19 ECO 2 24	現代政治学	●			●
19 ECO 2 25	法学概論	●			●
19 ECO 2 26	現代社会学	●			●
19 ECO 2 27	現代哲学	●			●

19	ECO	2	28	宗教学	●			●
19	ECO	2	29	実践英語Ⅰ		●		
19	ECO	2	30	実践英語Ⅱ		●		
19	ECO	2	31	日本経済論ディベートⅠ	●			
19	ECO	2	32	日本経済論ディベートⅡ	●			
19	ECO	2	33	海外実習Ⅱ		●		
19	ECO	2	34	フェアトレード		●		
19	ECO	2	35	世界史Ⅰ	●			●
19	ECO	2	36	世界史Ⅱ	●			●
19	ECO	2	37	地誌概説	●			●
19	ECO	2	38	海外インターンシップⅠ		●		
19	ECO	2	39	海外インターンシップⅡ		●		
19	ECO	3	01	農業経済学	●			
19	ECO	3	02	産業組織論	●			
19	ECO	3	03	医療経済学	●			
19	ECO	3	04	環境政策論	●			
19	ECO	3	05	証券論Ⅰ	●			
19	ECO	3	06	証券論Ⅱ	●			
19	ECO	3	07	文化経済学	●			
19	ECO	3	08	日本経済論Ⅰ	●			●
19	ECO	3	09	日本経済論Ⅱ	●			
19	ECO	3	10	国際経済学Ⅰ		●		●
19	ECO	3	11	国際経済学Ⅱ		●		
19	ECO	3	12	国際政治学		●		●
19	ECO	3	13	国際協力論Ⅰ		●		
19	ECO	3	14	国際協力論Ⅱ		●		
19	ECO	3	15	グローバルガバナンス論		●		●
19	ECO	3	16	現代アメリカ論		●		
19	ECO	3	17	現代ヨーロッパ論		●		●
19	ECO	3	18	現代アジア論		●		●
19	ECO	3	19	現代中国論		●		
19	ECO	3	20	演習Ⅲ	●	●	●	
19	ECO	3	21	演習Ⅳ	●	●	●	
19	ECO	3	22	社会思想史	●			●
19	ECO	3	23	地方自治論	●			●
19	ECO	3	24	国際金融論		●		
19	ECO	3	25	経済学特論Ⅰ	●			
19	ECO	3	26	財務会計Ⅰ	●			
19	ECO	3	27	財務会計Ⅱ	●			
19	ECO	3	28	労働法	●			
19	ECO	3	29	商法Ⅲ〔手形法・小切手法〕	●			
19	ECO	3	30	時事英語Ⅰ		●	●	
19	ECO	3	31	時事英語Ⅱ		●	●	
19	ECO	3	32	上級外国語Ⅰ		●		
19	ECO	3	33	上級外国語Ⅱ		●		
19	ECO	3	34	計量経済学	●			
19	ECO	3	35	公共経済学	●			
19	ECO	3	36	環境経済学	●			●
19	ECO	3	37	金融論	●			
19	ECO	3	38	財政学	●			
19	ECO	3	39	ゲーム理論	●			
19	ECO	3	40	経済思想史	●			●
19	ECO	3	41	西洋経済史		●		●
19	ECO	3	42	日本経済史	●			●

19	ECO	3	43	社会政策論	●			
19	ECO	3	44	労働経済論	●			
19	ECO	3	45	信用と景気循環	●			
19	ECO	3	46	開発経済論		●		
19	ECO	3	47	北海道経済論	●			●
19	ECO	3	48	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕	●			
19	ECO	3	49	経済法	●			
19	ECO	3	50	商法Ⅱ〔会社法〕	●			
19	ECO	3	51	経済学特論Ⅱ	●			
19	ECO	3	52	国際経済特論		●		
19	ECO	4	01	演習Ⅴ	●	●	●	
19	ECO	4	02	演習Ⅵ	●	●	●	
19	ECO	4	03	卒業論文	●	●		

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 ECO 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応			
		DP1	DP2	DP3	DP4
ディプロマ・ポリシー	DP1	高度の体系的性を備えた社会科学としての経済学を学び、経済学的思考を自らのものとするを通じて、経済・社会への確かな視座を獲得することができる。更に、理論を体系的に積み上げて理解し、これを踏まえて現実の経済・社会を把握するという学問的視点を身に着けることができる。			
	DP2	経済・社会を認識する上で、国と国との国際関係はもとより、国家の枠組みを超えたグローバルな社会連関をも視野に入れ、国内の問題や身近な地域の諸問題に至るまでグローバルな視点から捉えることができる。			
	DP3	必修科目である「新聞活用」や「上級新聞活用」、そして「時事英語」、更には現職ジャーナリストなどによる講義の受講を通じて、とりわけマスメディアを中心としたメディア・リテラシーを身に着けることができ、併せて経済学を始めとする社会科学の諸領域において広範且つ多様な情報環境においても言説の当否を見極める力を備えることができる。			
	DP4	教職課程の科目を併せて履修する者は、経済学科の専門科目における体系的な学びを通じて、教科に関する幅広い知識を獲得することができるだけでなく、経済学の体系的な知見と学問的な基礎力及び見識を身に着け、教育者としての職業人生の長い道のりの中で遭遇するであろう様々な経済・社会の変化や学問的進歩に適切に対応し、授業を絶えず進化させる力を身に着けることができる。			
23 ECO 1 01	経済学入門	●	●	●	
23 ECO 1 02	新聞活用Ⅰ			●	
23 ECO 1 03	新聞活用Ⅱ			●	
23 ECO 1 04	基礎経済学	●			
23 ECO 1 05	経済数学	●			
23 ECO 1 06	基礎経済史	●			●
23 ECO 1 07	現代の国際社会		●		
23 ECO 1 08	経済統計と日本経済	●			
23 ECO 2 01	ミクロ経済学Ⅰ	●			●
23 ECO 2 02	ミクロ経済学Ⅱ	●			●
23 ECO 2 03	マクロ経済学Ⅰ	●			●
23 ECO 2 04	マクロ経済学Ⅱ	●			●
23 ECO 2 05	経済統計学Ⅰ	●			
23 ECO 2 06	経済統計学Ⅱ	●			
23 ECO 2 07	社会経済学Ⅰ	●			●
23 ECO 2 08	社会経済学Ⅱ	●			●
23 ECO 2 09	社会経済史	●			●
23 ECO 2 10	現代資本主義論	●			●
23 ECO 2 11	国際関係論Ⅰ		●		●
23 ECO 2 12	国際関係論Ⅱ		●		●
23 ECO 2 13	グローバル社会論		●		
23 ECO 2 14	国際協力論Ⅰ		●		
23 ECO 2 15	演習Ⅰ	●	●	●	
23 ECO 2 16	演習Ⅱ	●	●	●	
23 ECO 2 17	上級新聞活用			●	
23 ECO 2 18	日本経済論ディベートⅠ	●		●	
23 ECO 2 19	日本経済論ディベートⅡ	●		●	
23 ECO 2 20	海外実習Ⅰ		●		
23 ECO 2 21	海外実習Ⅱ		●		
23 ECO 2 22	中小企業論	●			
23 ECO 2 23	会計入門	●			
23 ECO 2 24	簿記原理Ⅰ	●			
23 ECO 2 25	日本史Ⅰ〔前近代〕	●			●
23 ECO 2 26	日本史Ⅱ〔近代〕	●			●
23 ECO 2 27	世界史	●	●		●

23	ECO	2	28	地理学			●		●
23	ECO	2	29	自然地理学			●		●
23	ECO	2	30	地誌概説			●		●
23	ECO	2	31	現代政治学				●	●
23	ECO	2	32	法学概論				●	●
23	ECO	2	33	現代社会学				●	●
23	ECO	2	34	現代哲学				●	●
23	ECO	2	35	宗教学				●	●
23	ECO	2	36	実践英語Ⅰ			●		
23	ECO	2	37	実践英語Ⅱ			●		
23	ECO	2	38	メディアと社会			●		
23	ECO	2	39	国際金融論	●		●		
23	ECO	2	40	経済学特論Ⅰ	●				
23	ECO	2	41	経済学特論Ⅱ	●				
23	ECO	2	42	国際経済特論Ⅰ	●		●		
23	ECO	2	43	国際経済特論Ⅱ	●		●		
23	ECO	2	44	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕				●	
23	ECO	2	45	金融論	●				
23	ECO	2	46	財政学	●				
23	ECO	2	47	証券論Ⅰ	●				
23	ECO	2	48	証券論Ⅱ	●				
23	ECO	2	49	データサイエンス入門				●	
23	ECO	2	50	金融演習Ⅰ	●				
23	ECO	2	51	商法Ⅰ〔商法総則・商行為法〕				●	
23	ECO	3	01	計量経済学	●				
23	ECO	3	02	公共経済学	●				
23	ECO	3	03	環境経済学	●				
23	ECO	3	04	農業経済学	●				
23	ECO	3	05	ゲーム理論	●				
23	ECO	3	06	産業組織論	●				
23	ECO	3	07	医療経済学	●				
23	ECO	3	08	環境政策論	●				
23	ECO	3	09	日本経済論Ⅱ	●				
23	ECO	3	10	経済政策論	●				
23	ECO	3	11	企業金融論	●				
23	ECO	3	12	計量分析入門	●				
23	ECO	3	13	経済思想史	●				
23	ECO	3	14	西洋経済史	●		●		●
23	ECO	3	15	日本経済史	●				●
23	ECO	3	16	社会政策論	●				
23	ECO	3	17	労働経済論	●				
23	ECO	3	18	文化経済学	●				
23	ECO	3	19	日本経済論Ⅰ	●				●
23	ECO	3	20	信用と景気循環	●				
23	ECO	3	21	社会思想史	●				●
23	ECO	3	22	国際経済学Ⅰ	●		●		●
23	ECO	3	23	国際経済学Ⅱ	●		●		
23	ECO	3	24	国際政治学			●		●
23	ECO	3	25	開発経済論			●		
23	ECO	3	26	国際協力論Ⅱ			●		
23	ECO	3	27	国際協力論Ⅲ			●		
23	ECO	3	28	グローバルガバナンス論			●		●

23	ECO	3	29	現代アメリカ論		●		●
23	ECO	3	30	現代ヨーロッパ論		●		●
23	ECO	3	31	現代アジア論		●		●
23	ECO	3	32	現代中国論		●		
23	ECO	3	33	フェアトレード		●		
23	ECO	3	34	演習Ⅲ	●	●	●	
23	ECO	3	35	演習Ⅳ	●	●	●	
23	ECO	3	36	北海道経済論	●			●
23	ECO	3	37	地方自治論			●	●
23	ECO	3	38	北海道の企業	●			
23	ECO	3	39	財務会計Ⅰ	●			
23	ECO	3	40	財務会計Ⅱ	●			
23	ECO	3	41	金融演習Ⅱ	●			
23	ECO	3	42	経済法			●	
23	ECO	3	43	労働法			●	
23	ECO	3	44	知的財産法			●	
23	ECO	3	45	消費者情報法			●	
23	ECO	3	46	商法Ⅱ〔会社法〕			●	
23	ECO	3	47	時事英語Ⅰ		●		
23	ECO	3	48	時事英語Ⅱ		●		
23	ECO	4	01	演習Ⅴ	●	●	●	
23	ECO	4	02	演習Ⅵ	●	●	●	
23	ECO	4	03	卒業論文	●	●	●	
23	ECO	4	04	民法Ⅵ〔家族法〕			●	

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付していません。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

23 ECO 1 01

①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号

① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

経済学部 経営情報学科 カリキュラム・マップ

(2019~2022年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応				
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
ディプロマ・ポリシー	DP1	ビジネスの理論やスキル、情報の効果的な活用法を身につけ、実際のビジネスで活用することができる。				
	DP2	企業経営における実践的知識とシステム技術、展開力、応用力を身につけ活用することができる。				
	DP3	ビジネス実践能力と情報活用リテラシーを培い、幅広い企業経営の知識と会計理論、そして即戦力となる情報活用に関する技術を身につけ、実践できる。				
	DP4	現代の複雑な情報化社会にあって、情報活用能力を習得し、企業経営に経営情報を有効活用できる。				
	DP5	教職課程の科目を併せて履修する者には、経営情報学科の専門教育科目における体系的な学びを通して、教科に関する広い知識を獲得させるのみならず、自ら問題を発見し、問題解決に向き合う態度を身に付けさせ、現代の激しい社会の変化や技術の進歩に適切に対応でき、教職生活の中における様々な困難に対しても、自らその困難を乗り越え、より良い教育を実践できる。				
19 MGI 1 01	経営情報学Ⅰ				●	●
19 MGI 1 02	経営学入門Ⅰ	●				●
19 MGI 1 03	会計入門			●		●
19 MGI 1 04	マーケティングⅠ	●	●			●
19 MGI 1 05	経済学基礎					●
19 MGI 1 06	経済数学基礎	●				
19 MGI 1 07	経営情報学Ⅱ				●	●
19 MGI 1 08	経営学入門Ⅱ	●				●
19 MGI 1 09	企業形態論		●			●
19 MGI 1 10	簿記原理Ⅰ			●		●
19 MGI 1 11	マーケティングⅡ	●	●			●
19 MGI 1 12	経済数学	●				
19 MGI 1 13	情報処理	●		●	●	●
19 MGI 1 14	問題解決スキル		●			
19 MGI 1 15	基礎演習	●	●	●	●	
19 MGI 2 01	意思決定論		●		●	
19 MGI 2 02	証券と金融	●				
19 MGI 2 03	ビジネス法務			●		
19 MGI 2 04	ビジネスケース		●			
19 MGI 2 05	海外実習		●			
19 MGI 2 06	ビジネスと社会	●	●	●		
19 MGI 2 07	経営組織論Ⅰ	●				
19 MGI 2 08	経営組織論Ⅱ	●				
19 MGI 2 09	経営戦略論Ⅰ	●	●			●
19 MGI 2 10	経営戦略論Ⅱ	●	●			●
19 MGI 2 11	現代企業論		●			
19 MGI 2 12	産業心理学	●				
19 MGI 2 13	情報科学		●			●
19 MGI 2 14	マルチメディア論		●			●
19 MGI 2 15	情報と社会	●	●		●	●
19 MGI 2 16	プログラミングⅠ			●		●
19 MGI 2 17	プログラミングⅡ			●		●
19 MGI 2 18	経営科学				●	●
19 MGI 2 19	情報ネットワーク論				●	●
19 MGI 2 20	流通サービス経営論Ⅰ	●	●			●
19 MGI 2 21	流通サービス経営論Ⅱ	●	●			●
19 MGI 2 22	消費者行動論	●				●
19 MGI 2 23	広告コミュニケーション論	●	●			●

19	MGI	2	24	ブランドマネジメント論	●					
19	MGI	2	25	簿記原理Ⅱ				●		●
19	MGI	2	26	簿記原理Ⅲ				●		
19	MGI	2	27	財務会計Ⅰ				●		●
19	MGI	2	28	財務会計Ⅱ				●		●
19	MGI	2	29	原価計算Ⅰ				●		●
19	MGI	2	30	原価計算Ⅱ				●		●
19	MGI	2	31	証券概論		●				
19	MGI	2	32	企業金融論	●					
19	MGI	2	33	年金制度論	●					
19	MGI	2	34	証券市場論		●				
19	MGI	2	35	ミクロ経済学Ⅰ	●					
19	MGI	2	36	ミクロ経済学Ⅱ	●					
19	MGI	2	37	職業指導						●
19	MGI	2	38	金融論	●					
19	MGI	2	39	行政法Ⅰ〔行政法総論〕	●					
19	MGI	2	40	商法Ⅰ〔商法総則・商行為法〕	●					
19	MGI	2	41	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕	●					
19	MGI	2	42	マクロ経済学	●					
19	MGI	2	43	フェアトレード	●					
19	MGI	3	01	ビジネス英語	●					
19	MGI	3	02	経営史	●					
19	MGI	3	03	ベンチャー・マネジメント	●					
19	MGI	3	04	国際マネジメント	●					
19	MGI	3	05	データベース論					●	●
19	MGI	3	06	情報システム管理論					●	
19	MGI	3	07	シミュレーション論				●		●
19	MGI	3	08	ソフトウェア開発論Ⅰ		●				●
19	MGI	3	09	ソフトウェア開発論Ⅱ		●				●
19	MGI	3	10	情報システム論Ⅰ		●	●			●
19	MGI	3	11	情報システム論Ⅱ		●	●			
19	MGI	3	12	国際マーケティング					●	●
19	MGI	3	13	マーケティング・リサーチ				●		
19	MGI	3	14	プロダクト・デザイン	●	●				
19	MGI	3	15	管理会計Ⅰ				●		●
19	MGI	3	16	管理会計Ⅱ				●		●
19	MGI	3	17	国際会計Ⅰ				●		●
19	MGI	3	18	国際会計Ⅱ				●		●
19	MGI	3	19	国際金融論					●	
19	MGI	3	20	証券経済論	●					
19	MGI	3	21	商法Ⅲ〔手形法・小切手法〕	●					
19	MGI	3	22	金融取引法		●				
19	MGI	3	23	知的財産法	●					
19	MGI	3	24	労働法Ⅰ	●					
19	MGI	3	25	労働法Ⅱ	●					
19	MGI	3	26	地方自治法	●					
19	MGI	3	27	租税法	●					
19	MGI	3	28	規制と競争の経済学	●					
19	MGI	3	29	北海道経済論	●					
19	MGI	3	30	国際経済学Ⅰ	●					
19	MGI	3	31	国際経済学Ⅱ	●					
19	MGI	3	32	国際政治学	●					
19	MGI	3	33	現代政治学	●					
19	MGI	3	34	専門演習Ⅰ	●	●	●	●		

19	MGI	3	35	行政法Ⅱ〔行政救済法〕	●				
19	MGI	3	36	商法Ⅱ〔会社法〕	●				
19	MGI	3	37	経済法	●				
19	MGI	4	01	情報セキュリティマネジメント				●	
19	MGI	4	02	アプリケーション論				●	
19	MGI	4	03	専門演習Ⅱ	●	●	●	●	
19	MGI	4	04	卒業論文	●	●	●	●	

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 MGI 1 01

① ② ③ ④ ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号

① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応				
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
ディプロマ・ポリシー	DP1	ビジネスの理論やスキル、情報の効果的な活用法を身につけ、実際のビジネスで活用することができる。				
	DP2	企業経営における実践的知識とシステム技術、展開力、応用力を身につけ活用することができる。				
	DP3	ビジネス実践能力と情報活用リテラシを培い、幅広い企業経営の知識と会計理論、そして即戦力となる情報活用に関する技術を身につけ、実践できる。				
	DP4	現代の複雑な情報化社会にあって、情報活用能力を習得し、企業経営に経営情報を有効活用できる。				
	DP5	教職課程の科目を併せて履修する者には、経営情報学科の専門教育科目における体系的な学びを通して、教科に関する広い知識を獲得させるのみならず、自ら問題を発見し、問題解決に向き合う態度を身に付けさせ、現代の激しい社会の変化や技術の進歩に適切に対応でき、教職生活の中における様々な困難に対しても、自らその困難を乗り越え、より良い教育を実践できる。				
23 MGI 1 01	経営情報学Ⅰ				●	●
23 MGI 1 02	経営学入門Ⅰ	●				●
23 MGI 1 03	会計入門			●		●
23 MGI 1 04	マーケティングⅠ	●	●			●
23 MGI 1 05	経済学基礎					●
23 MGI 1 06	経済数学基礎	●				
23 MGI 1 07	経営情報学Ⅱ				●	●
23 MGI 1 08	経営学入門Ⅱ	●				●
23 MGI 1 09	企業形態論		●			●
23 MGI 1 10	簿記原理Ⅰ			●		●
23 MGI 1 11	マーケティングⅡ	●	●			●
23 MGI 1 12	経済数学	●				
23 MGI 1 13	情報処理	●		●	●	●
23 MGI 1 14	問題解決スキル		●			
23 MGI 1 15	基礎演習	●	●	●	●	
23 MGI 2 01	証券と金融	●				
23 MGI 2 02	ビジネスケース		●			
23 MGI 2 03	海外実習		●			
23 MGI 2 04	ビジネスと社会	●	●	●		
23 MGI 2 05	職業指導					●
23 MGI 2 06	経営組織論Ⅰ	●				
23 MGI 2 07	経営組織論Ⅱ	●				
23 MGI 2 08	経営戦略論Ⅰ	●	●			●
23 MGI 2 09	経営戦略論Ⅱ	●	●			●
23 MGI 2 10	現代企業論		●			
23 MGI 2 11	産業心理学	●				
23 MGI 2 12	情報科学		●			●
23 MGI 2 13	マルチメディア論		●			●
23 MGI 2 14	情報と社会	●	●		●	●
23 MGI 2 15	プログラミングⅠ			●		●
23 MGI 2 16	プログラミングⅡ			●		●
23 MGI 2 17	意思決定論		●		●	
23 MGI 2 18	経営科学				●	●
23 MGI 2 19	情報ネットワーク論				●	●
23 MGI 2 20	流通サービス経営論Ⅰ	●	●			●
23 MGI 2 21	流通サービス経営論Ⅱ	●	●			●
23 MGI 2 22	消費者行動論	●				●

23	MGI	2	23	広告コミュニケーション論	●	●			●
23	MGI	2	24	ブランドマネジメント論	●				
23	MGI	2	25	簿記原理Ⅱ			●		●
23	MGI	2	26	簿記原理Ⅲ			●		
23	MGI	2	27	財務会計Ⅰ			●		●
23	MGI	2	28	財務会計Ⅱ			●		●
23	MGI	2	29	原価計算Ⅰ			●		●
23	MGI	2	30	原価計算Ⅱ			●		●
23	MGI	2	31	証券論Ⅰ		●			
23	MGI	2	32	年金制度論	●				
23	MGI	2	33	証券市場論		●			
23	MGI	2	34	金融論	●				
23	MGI	2	35	行政法Ⅰ〔行政法総論〕	●				
23	MGI	2	36	商法Ⅰ〔商法総則・商行為法〕	●				
23	MGI	2	37	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕	●				
23	MGI	2	38	マクロ経済学	●				
23	MGI	2	39	ミクロ経済学Ⅰ	●				
23	MGI	2	40	ミクロ経済学Ⅱ	●				
23	MGI	2	41	証券論Ⅱ	●				
23	MGI	3	01	ビジネス英語	●				
23	MGI	3	02	専門演習Ⅰ	●	●	●	●	
23	MGI	3	03	企業金融論	●				
23	MGI	3	04	フェアトレード	●				
23	MGI	3	05	経営史	●				
23	MGI	3	06	ベンチャー・マネジメント	●				
23	MGI	3	07	国際マネジメント	●				
23	MGI	3	08	データベース論				●	●
23	MGI	3	09	情報システム管理論				●	
23	MGI	3	10	シミュレーション論			●		●
23	MGI	3	11	ソフトウェア開発論Ⅰ		●			●
23	MGI	3	12	ソフトウェア開発論Ⅱ		●			●
23	MGI	3	13	情報システム論Ⅰ		●	●		●
23	MGI	3	14	情報システム論Ⅱ		●	●		
23	MGI	3	15	国際マーケティング				●	●
23	MGI	3	16	マーケティング・リサーチ			●		
23	MGI	3	17	プロダクト・デザイン	●	●			
23	MGI	3	18	管理会計Ⅰ			●		●
23	MGI	3	19	管理会計Ⅱ			●		●
23	MGI	3	20	国際会計Ⅰ			●		●
23	MGI	3	21	国際会計Ⅱ			●		●
23	MGI	3	22	国際金融論				●	
23	MGI	3	23	行政法Ⅱ〔行政救済法〕	●				
23	MGI	3	24	商法Ⅱ〔会社法〕	●				
23	MGI	3	25	金融取引法		●			
23	MGI	3	26	知的財産法	●				
23	MGI	3	27	経済法	●				
23	MGI	3	28	消費者情報法	●				
23	MGI	3	29	労働法	●				
23	MGI	3	30	地方自治法	●				
23	MGI	3	31	租税法	●				
23	MGI	3	32	産業組織論	●				
23	MGI	3	33	北海道経済論	●				
23	MGI	3	34	国際経済学Ⅰ	●				
23	MGI	3	35	国際経済学Ⅱ	●				

23	MGI	3	36	現代政治学	●				
23	MGI	4	01	専門演習Ⅱ	●	●	●	●	
23	MGI	4	02	卒業論文	●	●	●	●	
23	MGI	4	03	情報セキュリティマネジメント				●	
23	MGI	4	04	アプリケーション論				●	

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

23 MGI 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
 ① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

経済学部 経済法学科 カリキュラム・マップ (2019～2022年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	学生各自が価値観、興味関心を明確に意識したうえで、理想とするキャリア形成に適したコースを、5つのコース「公共法政策」「経済分析」「企業法務」「金融・財政」「法律総合」の中から選択・学修することで、自らの視点で社会の動向を分析・予測し、人生を開拓できる力を修得している。		
	DP2	経済や法律の知識をベースに、実社会で活躍できる能力を身につけている。やや具体的にいえば、例えば金融志望の卒業生は、経済学と法学の知識を備え、多様な能力を発揮できる。また、公務員志望であれば、法学知識だけではなく、経済学なかでも特に財政学の知識を備え、より広い視野にたつて公務員としての任務遂行に当たることができる。		
	DP3	獲得した経済学、法学の知識と経験を活かし、中学・高校において教員として後進の指導にあたることもできる。		
19 ECL 1 01	法と経済	●	●	
19 ECL 1 02	法学入門	●	●	
19 ECL 1 03	基礎経済学	●	●	
19 ECL 1 04	証券概論	●	●	
19 ECL 1 05	基礎力養成塾Ⅰ	●	●	
19 ECL 1 06	基礎力養成塾Ⅱ	●	●	
19 ECL 1 07	経済数学基礎	●	●	
19 ECL 1 08	経済数学	●	●	
19 ECL 1 09	モダン・エコノミクス	●	●	
19 ECL 1 10	会計入門	●	●	
19 ECL 1 11	簿記原理Ⅰ	●	●	
19 ECL 1 12	金融論	●	●	●
19 ECL 1 13	憲法Ⅰ〔人権〕	●	●	●
19 ECL 1 14	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕	●	●	●
19 ECL 2 01	ミクロ経済学Ⅰ	●	●	●
19 ECL 2 02	ミクロ経済学Ⅱ	●	●	●
19 ECL 2 03	国際金融論	●	●	
19 ECL 2 04	証券経済論	●	●	
19 ECL 2 05	公共政策データ論	●	●	
19 ECL 2 06	規制と競争の経済学	●	●	
19 ECL 2 07	応用経済学特別講義	●	●	
19 ECL 2 08	金融財政事情	●	●	
19 ECL 2 09	経済統計学Ⅰ	●	●	
19 ECL 2 10	経済統計学Ⅱ	●	●	
19 ECL 2 11	北海道経済論	●	●	
19 ECL 2 12	民法Ⅳ〔債権総論〕	●	●	
19 ECL 2 13	民法再入門	●	●	
19 ECL 2 14	手続法基礎論	●	●	●
19 ECL 2 15	知的財産法	●	●	
19 ECL 2 16	法哲学	●	●	●
19 ECL 2 17	簿記原理Ⅱ	●	●	
19 ECL 2 18	簿記原理Ⅲ	●	●	
19 ECL 2 19	財務会計Ⅰ	●	●	
19 ECL 2 20	財務会計Ⅱ	●	●	
19 ECL 2 21	日本史Ⅰ〔前近代〕	●	●	●
19 ECL 2 22	日本史Ⅱ〔近代〕	●	●	●
19 ECL 2 23	地理学	●	●	●
19 ECL 2 24	自然地理学	●	●	●
19 ECL 2 25	現代政治学	●	●	●
19 ECL 2 26	宗教学	●	●	●
19 ECL 2 27	国際政治学	●	●	●
19 ECL 2 28	演習Ⅰ	●	●	

19	ECL	2	29	マクロ経済学	●	●	●
19	ECL	2	30	財政学	●	●	●
19	ECL	2	31	経済政策論	●	●	●
19	ECL	2	32	計量経済学	●	●	
19	ECL	2	33	憲法Ⅱ〔統治機構〕	●	●	●
19	ECL	2	34	行政法Ⅰ〔行政法総論〕	●	●	●
19	ECL	2	35	民法Ⅱ〔債権各論〕	●	●	
19	ECL	2	36	商法Ⅰ〔商法総則・商行為法〕	●	●	●
19	ECL	2	37	世界史Ⅰ	●	●	●
19	ECL	2	38	世界史Ⅱ	●	●	●
19	ECL	2	39	地誌概説	●	●	●
19	ECL	3	01	企業金融論	●	●	
19	ECL	3	02	国際経済学Ⅰ	●	●	
19	ECL	3	03	国際経済学Ⅱ	●	●	
19	ECL	3	04	中小企業論	●	●	
19	ECL	3	05	環境政策論	●	●	
19	ECL	3	06	国際人権法	●	●	●
19	ECL	3	07	租税法	●	●	●
19	ECL	3	08	地方自治法	●	●	
19	ECL	3	09	民法Ⅲ〔不法行為〕	●	●	
19	ECL	3	10	民法Ⅴ〔担保物権〕	●	●	
19	ECL	3	11	金融取引法	●	●	
19	ECL	3	12	商法Ⅲ〔手形法・小切手法〕	●	●	
19	ECL	3	13	商法Ⅳ〔保険法〕	●	●	
19	ECL	3	14	民事執行法	●	●	
19	ECL	3	15	倒産処理法	●	●	
19	ECL	3	16	刑事法Ⅰ〔刑法総論〕	●	●	
19	ECL	3	17	刑事法Ⅱ〔刑法各論・刑事訴訟法〕	●	●	
19	ECL	3	18	ビジネス法務	●	●	
19	ECL	3	19	労働法	●	●	●
19	ECL	3	20	管理会計Ⅰ	●	●	
19	ECL	3	21	管理会計Ⅱ	●	●	
19	ECL	3	22	ビジネス英語	●	●	
19	ECL	3	23	社会思想史	●	●	●
19	ECL	3	24	演習Ⅱ	●	●	
19	ECL	3	25	環境経済学	●	●	
19	ECL	3	26	行政法Ⅱ〔行政救済法〕	●	●	
19	ECL	3	27	商法Ⅱ〔会社法〕	●	●	
19	ECL	3	28	民事訴訟法	●	●	
19	ECL	3	29	経済法	●	●	●
19	ECL	4	01	民法Ⅵ〔家族法〕	●	●	
19	ECL	4	02	社会保障法	●	●	
19	ECL	4	03	演習Ⅲ	●	●	
19	ECL	4	04	卒業論文	●	●	

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 ECL 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

経済学部 経済法学科 カリキュラム・マップ

(2023年度以降入学生用)

ディプロマ・ポリシー	DP1	学生各自が価値観、興味関心を明確に意識したうえで、理想とするキャリア形成に適したコースを、3つのコース「公共法政策」「経済・金融」「法学&法務」の中から選択・学修することで、自らの視点で社会の動向を分析・予測し、人生を開拓できる力を修得している。		
	DP2	経済や法律の知識をベースに、実社会で活躍できる能力を身につけている。いかなる経済・社会活動においても、置かれている状況を大局的、客観的に分析し、進むべき方向を見出しうる経済学の知識や経済学的思考（エコノミックシンキング）を備えている。また、絶え間なく発生するリスクを予見し、適切に管理し、問題を解決できる法の知識とその基礎にある考え方（リーガルマインド）を備えている。公務員であれば、法律知識はもとより、経済学の知識を備え、的確な視点にたって、調査、政策立案、法執行の任務遂行に当たることができる。		
	DP3	教職課程の科目を併せて履修する者は、経済学と、法律学の考え方と知見を修得し、それによって変化し続ける時代の中で、専門知識を継続的に更新することで中学・高校において教員として適切な指導を行うことができる。		
ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
23 ECL 1 01	法学入門	●	●	
23 ECL 1 02	基礎経済学	●	●	
23 ECL 1 03	データサイエンス入門	●	●	
23 ECL 1 04	基礎力養成塾Ⅰ	●	●	
23 ECL 1 05	基礎力養成塾Ⅱ	●	●	
23 ECL 1 06	経済数学基礎	●	●	
23 ECL 1 07	経済数学	●	●	
23 ECL 1 08	経済統計学Ⅰ	●	●	
23 ECL 1 09	経済統計学Ⅱ	●	●	
23 ECL 1 10	憲法Ⅰ〔人権〕	●	●	●
23 ECL 1 11	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕	●	●	●
23 ECL 1 12	会計入門	●	●	
23 ECL 1 13	簿記原理Ⅰ	●	●	
23 ECL 2 01	証券論Ⅰ	●	●	
23 ECL 2 02	演習Ⅰ	●	●	
23 ECL 2 03	計量分析入門	●	●	
23 ECL 2 04	ミクロ経済学Ⅰ	●	●	●
23 ECL 2 05	ミクロ経済学Ⅱ	●	●	●
23 ECL 2 06	マクロ経済学	●	●	●
23 ECL 2 07	財政学	●	●	●
23 ECL 2 08	金融論	●	●	●
23 ECL 2 09	国際金融論	●	●	
23 ECL 2 10	証券論Ⅱ	●	●	
23 ECL 2 11	公共政策データ論	●	●	
23 ECL 2 12	経済政策論	●	●	●
23 ECL 2 13	産業組織論	●	●	
23 ECL 2 14	金融財政事情	●	●	
23 ECL 2 15	計量ファイナンスⅠ	●	●	
23 ECL 2 16	情報ネットワーク論	●	●	
23 ECL 2 17	プログラミングⅠ	●	●	
23 ECL 2 18	プログラミングⅡ	●	●	
23 ECL 2 19	憲法Ⅱ〔統治機構〕	●	●	●
23 ECL 2 20	行政法Ⅰ〔行政法総論〕	●	●	●
23 ECL 2 21	民法Ⅱ〔債権各論〕	●	●	
23 ECL 2 22	民法Ⅳ〔債権総論〕	●	●	

23	ECL	2	23	民法再入門	●	●	
23	ECL	2	24	商法Ⅰ〔商法総則・商行為法〕	●	●	●
23	ECL	2	25	手続法基礎論	●	●	●
23	ECL	2	26	刑事法Ⅰ〔刑法総論・各論〕	●	●	
23	ECL	2	27	法哲学	●	●	●
23	ECL	2	28	簿記原理Ⅱ	●	●	
23	ECL	2	29	簿記原理Ⅲ	●	●	
23	ECL	2	30	財務会計Ⅰ	●	●	
23	ECL	2	31	財務会計Ⅱ	●	●	
23	ECL	2	32	ビジネス英語	●	●	
23	ECL	2	33	日本史Ⅰ〔前近代〕	●	●	●
23	ECL	2	34	日本史Ⅱ〔近現代〕	●	●	●
23	ECL	2	35	世界史	●	●	●
23	ECL	2	36	地理学	●	●	●
23	ECL	2	37	自然地理学	●	●	●
23	ECL	2	38	地誌概説	●	●	●
23	ECL	2	39	現代政治学	●	●	●
23	ECL	2	40	宗教学	●	●	●
23	ECL	3	01	演習Ⅱ	●	●	
23	ECL	3	02	企業金融論	●	●	
23	ECL	3	03	法と経済	●	●	
23	ECL	3	04	計量ファイナンスⅡ	●	●	
23	ECL	3	05	データベース論	●	●	
23	ECL	3	06	シミュレーション論	●	●	
23	ECL	3	07	国際経済学Ⅰ	●	●	
23	ECL	3	08	国際経済学Ⅱ	●	●	
23	ECL	3	09	ゲーム理論	●	●	
23	ECL	3	10	計量経済学	●	●	
23	ECL	3	11	日本経済論Ⅰ	●	●	
23	ECL	3	12	日本経済論Ⅱ	●	●	
23	ECL	3	13	公共経済学	●	●	
23	ECL	3	14	北海道経済論	●	●	
23	ECL	3	15	中小企業論	●	●	
23	ECL	3	16	環境経済学	●	●	
23	ECL	3	17	環境政策論	●	●	
23	ECL	3	18	国際人権法	●	●	●
23	ECL	3	19	行政法Ⅱ〔行政救済法〕	●	●	
23	ECL	3	20	租税法	●	●	●
23	ECL	3	21	地方自治法	●	●	●
23	ECL	3	22	民法Ⅲ〔不法行為〕	●	●	
23	ECL	3	23	民法Ⅴ〔担保物権〕	●	●	
23	ECL	3	24	金融取引法	●	●	
23	ECL	3	25	商法Ⅱ〔会社法〕	●	●	
23	ECL	3	26	商法Ⅲ〔保険法〕	●	●	
23	ECL	3	27	民事訴訟法	●	●	
23	ECL	3	28	民事執行法	●	●	
23	ECL	3	29	倒産処理法	●	●	
23	ECL	3	30	刑事法Ⅱ〔刑事訴訟法〕	●	●	
23	ECL	3	31	消費者情報法	●	●	
23	ECL	3	32	経済法	●	●	●
23	ECL	3	33	科学技術と法	●	●	
23	ECL	3	34	知的財産法	●	●	
23	ECL	3	35	労働法	●	●	●
23	ECL	3	36	管理会計Ⅰ	●	●	

23	ECL	3	37	管理会計Ⅱ	●	●	
23	ECL	3	38	社会思想史	●	●	●
23	ECL	3	39	国際政治学	●	●	●
23	ECL	4	01	演習Ⅲ	●	●	
23	ECL	4	02	民法Ⅵ〔家族法〕	●	●	
23	ECL	4	03	社会保障法	●	●	
23	ECL	4	04	卒業論文	●	●	

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

23 ECL 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

社会福祉学部 社会福祉学科 カリキュラム・マップ

(2023年度以降入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応						
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5	DP6	DP7
ディプロマ・ポリシー	DP1	社会福祉学の専門的知識とともに、複雑化・複合化・多様化している個人や家族の生活課題とその背景にある社会構造を多角的に捉えるために必要な社会科学や人文科学の幅広い知識と教養を身につけている。						
	DP2	社会生活上の困難に直面する人々に対して、共感をもってその相談に応じるとともに、多様な専門職および組織・機関や地域住民等の関係者と連携・協働できるコミュニケーション力を身につけている。						
	DP3	多様な生活問題とその背景にある社会構造の歪み・矛盾を発見し、それらを的確に捉える分析力を身につけている。						
	DP4	地域の社会資源を発掘・創造するとともに、住民の生活課題や地域課題の解決に向けて具体的方策を計画・企画・発議できるデザイン力を身につけている。						
	DP5	個人や地域社会の課題解決力を支えるとともに、必要に応じて自らが課題解決に取り組むことを直接的・間接的に支える支援力・教育力を身につけている。						
	DP6	個別的で複雑化・複合化したニーズを持つ人々に対して、共生を志向するとともに、福祉マインドを持ってビジネス、行政、地域活性化や地域づくりに取り組むことができる企画・実践力を身につけている。						
	DP7	自らの専門的知識・技術の向上に取り組む、成長し続けることを可能とするために自己研鑽する力を身につけている。						
23 SWE 1 01	社会福祉学入門	●		●		●		
23 SWE 1 02	社会福祉の歴史と思想	●		●				
23 SWE 1 03	人間の発達と社会	●		●				
23 SWE 1 04	社会福祉概説Ⅰ	●		●		●		
23 SWE 1 05	社会福祉概説Ⅱ	●		●		●		
23 SWE 1 06	ソーシャルワークの基盤と専門職	●		●		●		●
23 SWE 1 07	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ	●		●	●	●	●	●
23 SWE 1 08	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ	●		●	●	●	●	●
23 SWE 1 09	社会福祉基礎ゼミナールⅠ	●	●	●	●	●		●
23 SWE 1 10	心理学と心理的支援	●	●			●		
23 SWE 1 11	ジェンダー論	●		●		●	●	
23 SWE 1 12	生涯学習概論	●			●	●	●	
23 SWE 1 13	社会学と社会システム	●		●		●		
23 SWE 1 14	医学概論	●				●		
23 SWE 1 15	地域デザイン論	●		●	●	●	●	
23 SWE 1 16	社会調査方法論	●		●			●	
23 SWE 1 17	倫理学	●		●				
23 SWE 1 18	憲法Ⅰ〔人権〕	●		●				
23 SWE 2 01	社会福祉と法	●		●		●		
23 SWE 2 02	社会福祉基礎ゼミナールⅡ	●	●	●	●	●	●	●
23 SWE 2 03	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ	●		●	●	●	●	
23 SWE 2 04	高齢者福祉論	●		●	●	●	●	
23 SWE 2 05	国際福祉論	●		●				
23 SWE 2 06	海外福祉実習	●		●		●		●
23 SWE 2 07	社会教育経営論Ⅰ	●			●	●	●	
23 SWE 2 08	社会教育経営論Ⅱ	●			●	●	●	
23 SWE 2 09	生涯学習支援論Ⅰ	●			●	●	●	
23 SWE 2 10	生涯学習支援論Ⅱ	●			●	●	●	
23 SWE 2 11	社会教育実習	●	●		●	●	●	
23 SWE 2 12	家庭教育と社会教育	●				●		
23 SWE 2 13	現代資本主義論	●		●				

23	SWE	3	12	司法福祉論	●		●		●			
23	SWE	3	13	障害児教育論	●		●		●			
23	SWE	3	14	スクールソーシャルワーク論	●		●	●	●	●		
23	SWE	3	15	社会福祉管理運営論	●		●	●	●	●		
23	SWE	3	16	保健医療と福祉	●		●		●			
23	SWE	3	17	ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅱ	●	●	●	●	●	●		
23	SWE	3	18	ソーシャルワーク演習〔専門〕Ⅲ	●	●	●	●	●	●		
23	SWE	3	19	ソーシャルワーク実習	●	●	●	●	●	●	●	●
23	SWE	3	20	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	●	●	●	●	●	●	●	●
23	SWE	3	21	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ	●	●	●	●	●	●	●	●
23	SWE	3	22	精神医学と精神医療Ⅰ	●		●		●			
23	SWE	3	23	精神医学と精神医療Ⅱ	●		●		●			
23	SWE	3	24	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ	●		●	●	●	●		
23	SWE	3	25	精神保健福祉の原理Ⅱ	●		●		●			
23	SWE	3	26	精神保健福祉制度論	●		●		●			
23	SWE	3	27	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	●	●	●	●	●	●		
23	SWE	3	28	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	●	●	●	●	●	●		
23	SWE	3	29	地方自治論	●		●					
23	SWE	3	30	地域デザイン実習	●	●	●	●	●	●	●	●
23	SWE	3	31	ソーシャル・マネジメント論	●		●	●		●		
23	SWE	3	32	労働法	●		●					
23	SWE	3	33	行政法	●		●					
23	SWE	3	34	社会思想史	●							
23	SWE	3	35	国際経済学Ⅰ	●		●					
23	SWE	3	36	知的障害者の病理保健	●		●		●			
23	SWE	3	37	肢体不自由者の病理保健	●		●		●			
23	SWE	3	38	病弱者の病理保健	●		●		●			
23	SWE	3	39	視覚障害教育論	●		●		●			
23	SWE	3	40	聴覚障害教育論	●		●		●			
23	SWE	3	41	障害児教育実習	●	●	●		●			●
23	SWE	4	01	卒業研究	●		●	●	●	●	●	●
23	SWE	4	02	社会教育演習	●	●	●	●	●	●	●	●
23	SWE	4	03	スクールソーシャルワーク演習	●	●	●	●	●	●	●	●
23	SWE	4	04	スクールソーシャルワーク実習	●	●	●	●	●	●	●	●
23	SWE	4	05	スクールソーシャルワーク実習指導	●	●	●	●	●	●	●	●
23	SWE	4	06	精神障害リハビリテーション論	●		●		●			
23	SWE	4	07	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	●	●	●	●	●	●	●	●
23	SWE	4	08	精神保健ソーシャルワーク実習	●	●	●	●	●	●	●	●
23	SWE	4	09	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	●	●	●	●	●	●	●	●
23	SWE	4	10	総合演習Ⅰ	●		●		●			●
23	SWE	4	11	総合演習Ⅱ	●		●		●			●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー（DP）との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

23 SWE 1 01

① ② ③ ④

①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

社会福祉学部 福祉計画学科 カリキュラム・マップ

(2019年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応			
		DP1	DP2	DP3	DP4
ディプロマ・ポリシー	DP1	「福祉マインド」をもって民間企業や国家・地方の公的機関に従事する人材、さらにNPO や教育機関などで活躍することができる。			
	DP2	福祉サービスを必要とする人びとの視点で、寄り添いながら援助を行い、福祉的施策に関するプランを策定し、サービスを提供する能力を身につけることができる。			
	DP3	地域で住民や公的機関と協働し、ニーズを統計的に把握し、主体的に問題を解決するコミュニティ・ソーシャルワーカーとして活躍することができる。			
	DP4	社会福祉制度・政策の知識を有し、国際比較を踏まえて分析する能力を身につけることができる。			
19 SPO 1 01	福祉計画概説	●			
19 SPO 1 02	社会福祉概説	●	●		
19 SPO 1 03	ジェンダー論	●			●
19 SPO 1 04	比較家族論	●			●
19 SPO 1 05	福祉社会学	●			●
19 SPO 1 06	社会調査入門			●	
19 SPO 1 07	海外の福祉制度				●
19 SPO 1 08	倫理学	●			
19 SPO 1 09	経済学入門	●			
19 SPO 1 10	心理学理論と心理的支援	●	●		
19 SPO 1 11	社会理論と社会システム	●			
19 SPO 1 12	ソーシャルワーク論Ⅰ		●	●	
19 SPO 1 13	社会福祉発達史				●
19 SPO 1 14	社会保障論Ⅰ	●			●
19 SPO 1 15	公衆衛生	●	●		
19 SPO 2 01	相談援助入門実習		●	●	
19 SPO 2 02	社会調査法			●	
19 SPO 2 03	福祉財政論	●	●		
19 SPO 2 04	ケアマネジメント論	●			
19 SPO 2 05	社会福祉調査方法論			●	
19 SPO 2 06	コミュニティ論			●	
19 SPO 2 07	非営利組織論	●		●	
19 SPO 2 08	福祉計画特論	●			
19 SPO 2 09	福祉国家論				●
19 SPO 2 10	福祉計画論Ⅰ		●		
19 SPO 2 11	福祉計画論Ⅱ		●		
19 SPO 2 12	地方自治論	●		●	
19 SPO 2 13	医療経済学	●			
19 SPO 2 14	社会教育計画	●			
19 SPO 2 15	社会教育方法論				
19 SPO 2 16	データ解析入門			●	
19 SPO 2 17	海外福祉計画実習				●
19 SPO 2 18	日本史Ⅰ〔前近代〕	●			
19 SPO 2 19	日本史Ⅱ〔近現代〕	●			
19 SPO 2 20	地理学	●			
19 SPO 2 21	自然地理学	●			
19 SPO 2 22	現代政治学	●			
19 SPO 2 23	現代社会学	●			
19 SPO 2 24	現代哲学	●			
19 SPO 2 25	宗教学	●			
19 SPO 2 26	社会思想史	●			

19	SPO	2	27	国際政治学	●				
19	SPO	2	28	家庭教育と社会教育	●				
19	SPO	2	29	医学知識Ⅰ		●			
19	SPO	2	30	医学知識Ⅱ		●			
19	SPO	2	31	ソーシャルワーク論Ⅱ		●	●		
19	SPO	2	32	ソーシャルワーク方法論Ⅰ		●	●		
19	SPO	2	33	ソーシャルワーク方法論Ⅱ		●	●		
19	SPO	2	34	高齢者福祉論		●			
19	SPO	2	35	障害者福祉論		●			
19	SPO	2	36	児童・家庭福祉論		●			
19	SPO	2	37	相談援助実践論		●	●		
19	SPO	2	38	相談援助実習指導Ⅰ		●	●		
19	SPO	2	39	社会福祉調査論			●		
19	SPO	2	40	福祉行財政と福祉計画	●		●		
19	SPO	2	41	社会保障論Ⅱ	●				●
19	SPO	2	42	公的扶助論		●			
19	SPO	2	43	権利擁護と成年後見制度	●	●			
19	SPO	2	44	地域福祉論			●		
19	SPO	2	45	コミュニティワーク論			●		
19	SPO	2	46	司法福祉論	●	●			
19	SPO	2	47	医療福祉論		●			
19	SPO	2	48	相談援助演習Ⅰ		●	●		
19	SPO	2	49	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕	●				
19	SPO	2	50	行政法Ⅰ〔行政法総論〕	●				
19	SPO	2	51	世界史Ⅰ	●				
19	SPO	2	52	世界史Ⅱ	●				
19	SPO	2	53	地誌概説	●				
19	SPO	2	54	憲法Ⅰ〔人権〕	●				
19	SPO	2	55	生涯学習概論	●				
19	SPO	3	01	社会保障法	●	●			
19	SPO	3	02	労働法	●				
19	SPO	3	03	租税法	●				
19	SPO	3	04	専門演習Ⅰ	●	●	●	●	
19	SPO	3	05	専門演習Ⅱ	●	●	●	●	
19	SPO	3	06	国際比較福祉論				●	
19	SPO	3	07	福祉計画インターンシップ	●	●	●		
19	SPO	3	08	国際経済学Ⅰ	●				
19	SPO	3	09	国際経済学Ⅱ	●				
19	SPO	3	10	青少年問題と社会教育	●				
19	SPO	3	11	高齢化と社会教育					
19	SPO	3	12	相談援助演習Ⅱ		●	●		
19	SPO	3	13	相談援助実習指導Ⅱ		●	●		
19	SPO	3	14	相談援助実習指導Ⅲ		●	●		
19	SPO	3	15	労災と就労支援	●	●			
19	SPO	3	16	社会福祉管理運営論		●			
19	SPO	3	17	ソーシャルワーク実践理論Ⅰ		●	●		
19	SPO	3	18	ソーシャルワーク実践理論Ⅱ		●	●		
19	SPO	3	19	介護概論		●			
19	SPO	3	20	憲法Ⅱ〔統治機構〕	●				
19	SPO	3	21	職業指導	●				
19	SPO	3	22	社会福祉調査実習	●		●		
19	SPO	3	23	コミュニティワーク実習	●		●		
19	SPO	3	24	相談援助実習		●	●		

19 SPO 4 01	専門演習Ⅲ	●	●	●	●
19 SPO 4 02	専門演習Ⅳ	●	●	●	●
19 SPO 4 03	社会教育演習	●			
19 SPO 4 04	卒業論文	●	●	●	●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 SPO 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

社会福祉学部 福祉計画学科 カリキュラム・マップ

(2020年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応			
		DP1	DP2	DP3	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	「福祉マインド」をもって民間企業や国家・地方の公的機関に従事する人材、さらにNPO や教育機関などで活躍することができる。			
	DP2	福祉サービスを必要とする人びとの視点で、寄り添いながら援助を行い、福祉的施策に関するプランを策定し、サービスを提供する能力を身につけることができる。			
	DP3	地域で住民や公的機関と協働し、ニーズを統計的に把握し、主体的に問題を解決するコミュニティ・ソーシャルワーカーとして活躍することができる。			
	DP4	社会福祉制度・政策の知識を有し、国際比較を踏まえて分析する能力を身につけることができる。			
20 SPO 1 01	福祉計画概説	●			
20 SPO 1 02	社会福祉概説	●	●		
20 SPO 1 03	ジェンダー論	●			●
20 SPO 1 04	福祉社会学	●			●
20 SPO 1 05	社会調査入門			●	
20 SPO 1 06	海外の福祉制度				●
20 SPO 1 07	倫理学	●			
20 SPO 1 08	生涯学習概論	●			
20 SPO 1 09	経済学入門	●			
20 SPO 1 10	心理学理論と心理的支援	●	●		
20 SPO 1 11	社会理論と社会システム	●			
20 SPO 1 12	ソーシャルワーク論Ⅰ		●	●	
20 SPO 1 13	社会福祉発達史				●
20 SPO 1 14	社会保障論Ⅰ	●			●
20 SPO 1 15	公衆衛生	●	●		
20 SPO 2 01	相談援助入門実習		●	●	
20 SPO 2 02	社会調査法			●	
20 SPO 2 03	福祉財政論	●	●		
20 SPO 2 04	ケアマネジメント論	●			
20 SPO 2 05	社会福祉調査方法論			●	
20 SPO 2 06	コミュニティ論			●	
20 SPO 2 07	非営利組織論	●		●	
20 SPO 2 08	福祉計画特論	●			
20 SPO 2 09	福祉国家論				●
20 SPO 2 10	福祉計画論Ⅰ		●		
20 SPO 2 11	福祉計画論Ⅱ		●		
20 SPO 2 12	地方自治論	●		●	
20 SPO 2 13	医療経済学	●			
20 SPO 2 14	社会教育経営論Ⅰ	●			
20 SPO 2 15	社会教育経営論Ⅱ	●			
20 SPO 2 16	生涯学習支援論Ⅰ	●			
20 SPO 2 17	生涯学習支援論Ⅱ	●			
20 SPO 2 18	データ解析入門			●	
20 SPO 2 19	海外福祉計画実習				●
20 SPO 2 20	日本史Ⅰ〔前近代〕	●			
20 SPO 2 21	日本史Ⅱ〔近現代〕	●			
20 SPO 2 22	地理学	●			
20 SPO 2 23	自然地理学	●			
20 SPO 2 24	現代政治学	●			
20 SPO 2 25	現代社会学	●			
20 SPO 2 26	現代哲学	●			

20	SPO	2	27	宗教学	●				
20	SPO	2	28	社会思想史	●				
20	SPO	2	29	国際政治学	●				
20	SPO	2	30	家庭教育と社会教育	●				
20	SPO	2	31	社会教育実習	●				
20	SPO	2	32	医学知識Ⅰ		●			
20	SPO	2	33	医学知識Ⅱ		●			
20	SPO	2	34	ソーシャルワーク論Ⅱ		●	●		
20	SPO	2	35	ソーシャルワーク方法論Ⅰ		●	●		
20	SPO	2	36	ソーシャルワーク方法論Ⅱ		●	●		
20	SPO	2	37	高齢者福祉論		●			
20	SPO	2	38	障害者福祉論		●			
20	SPO	2	39	児童・家庭福祉論		●			
20	SPO	2	40	相談援助実践論		●	●		
20	SPO	2	41	相談援助実習指導Ⅰ		●	●		
20	SPO	2	42	社会福祉調査論			●		
20	SPO	2	43	福祉行財政と福祉計画	●		●		
20	SPO	2	44	社会保障論Ⅱ	●				●
20	SPO	2	45	公的扶助論		●			
20	SPO	2	46	権利擁護と成年後見制度	●	●			
20	SPO	2	47	地域福祉論			●		
20	SPO	2	48	コミュニティワーク論			●		
20	SPO	2	49	司法福祉論	●	●			
20	SPO	2	50	医療福祉論		●			
20	SPO	2	51	相談援助演習Ⅰ		●	●		
20	SPO	2	52	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕	●				
20	SPO	2	53	行政法Ⅰ〔行政法総論〕	●				
20	SPO	2	54	世界史Ⅰ	●				
20	SPO	2	55	世界史Ⅱ	●				
20	SPO	2	56	地誌概説	●				
20	SPO	2	57	憲法Ⅰ〔人権〕	●				
20	SPO	3	01	社会保障法	●	●			
20	SPO	3	02	労働法	●				
20	SPO	3	03	租税法	●				
20	SPO	3	04	専門演習Ⅰ	●	●	●		●
20	SPO	3	05	専門演習Ⅱ	●	●	●		●
20	SPO	3	06	国際比較福祉論					●
20	SPO	3	07	福祉計画インターンシップ	●	●	●		
20	SPO	3	08	国際経済学Ⅰ	●				
20	SPO	3	09	国際経済学Ⅱ	●				
20	SPO	3	10	青少年問題と社会教育	●				
20	SPO	3	11	相談援助演習Ⅱ		●	●		
20	SPO	3	12	相談援助実習指導Ⅱ		●	●		
20	SPO	3	13	相談援助実習指導Ⅲ		●	●		
20	SPO	3	14	労災と就労支援	●	●			
20	SPO	3	15	社会福祉管理運営論		●			
20	SPO	3	16	ソーシャルワーク実践理論Ⅰ		●	●		
20	SPO	3	17	ソーシャルワーク実践理論Ⅱ		●	●		
20	SPO	3	18	介護概論		●			
20	SPO	3	19	憲法Ⅱ〔統治機構〕	●				
20	SPO	3	20	職業指導	●				
20	SPO	3	21	社会福祉調査実習	●		●		
20	SPO	3	22	コミュニティワーク実習	●		●		
20	SPO	3	23	相談援助実習		●	●		

20	SPO	4	01	専門演習Ⅲ	●	●	●	●
20	SPO	4	02	専門演習Ⅳ	●	●	●	●
20	SPO	4	03	社会教育演習	●			
20	SPO	4	04	卒業論文	●	●	●	●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

20 SPO 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
 ① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

社会福祉学部 福祉計画学科 カリキュラム・マップ (2021~2022年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応			
		DP1	DP2	DP3	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	「福祉マインド」をもって民間企業や国家・地方の公的機関に従事する人材、さらにNPO や教育機関などで活躍することができる。			
	DP2	福祉サービスを必要とする人びとの視点で、寄り添いながら援助を行い、福祉的施策に関するプランを策定し、サービスを提供する能力を身につけることができる。			
	DP3	地域で住民や公的機関と協働し、ニーズを統計的に把握し、主体的に問題を解決するコミュニティ・ソーシャルワーカーとして活躍することができる。			
	DP4	社会福祉制度・政策の知識を有し、国際比較を踏まえて分析する能力を身につけることができる。			
21 SPO 1 01	福祉計画概説	●			
21 SPO 1 02	社会福祉概説Ⅰ	●	●		
21 SPO 1 03	社会福祉概説Ⅱ	●	●		
21 SPO 1 04	ジェンダー論	●			●
21 SPO 1 05	福祉社会学	●			●
21 SPO 1 06	社会調査入門			●	
21 SPO 1 07	海外の福祉制度				●
21 SPO 1 08	倫理学	●			
21 SPO 1 09	生涯学習概論	●			
21 SPO 1 10	経済学入門	●			
21 SPO 1 11	心理学と心理的支援	●	●		
21 SPO 1 12	社会学と社会システム	●			
21 SPO 1 13	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ		●	●	
21 SPO 1 14	社会福祉発達史				●
21 SPO 1 15	社会保障論Ⅰ	●			●
21 SPO 1 16	公衆衛生	●	●		
21 SPO 2 01	ソーシャルワーク入門実習		●	●	
21 SPO 2 02	社会調査法			●	
21 SPO 2 03	福祉財政論	●	●		
21 SPO 2 04	ケアマネジメント論	●			
21 SPO 2 05	社会福祉調査方法論			●	
21 SPO 2 06	コミュニティ論			●	
21 SPO 2 07	非営利組織論	●		●	
21 SPO 2 08	福祉計画特論	●			
21 SPO 2 09	福祉国家論				●
21 SPO 2 10	福祉計画論Ⅰ		●		
21 SPO 2 11	福祉計画論Ⅱ		●		
21 SPO 2 12	地方自治論	●		●	
21 SPO 2 13	医療経済学	●			
21 SPO 2 14	社会教育経営論Ⅰ	●			
21 SPO 2 15	社会教育経営論Ⅱ	●			
21 SPO 2 16	生涯学習支援論Ⅰ	●			
21 SPO 2 17	生涯学習支援論Ⅱ	●			
21 SPO 2 18	データ解析入門			●	
21 SPO 2 19	海外福祉計画実習				●
21 SPO 2 20	日本史Ⅰ〔前近代〕	●			
21 SPO 2 21	日本史Ⅱ〔近現代〕	●			
21 SPO 2 22	地理学	●			
21 SPO 2 23	自然地理学	●			
21 SPO 2 24	現代政治学	●			
21 SPO 2 25	現代社会学	●			

21	SPO	2	26	現代哲学	●			
21	SPO	2	27	宗教学	●			
21	SPO	2	28	社会思想史	●			
21	SPO	2	29	国際政治学	●			
21	SPO	2	30	家庭教育と社会教育	●			
21	SPO	2	31	社会教育実習	●			
21	SPO	2	32	医学概論		●		
21	SPO	2	33	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		●	●	
21	SPO	2	34	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		●	●	
21	SPO	2	35	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		●	●	
21	SPO	2	36	高齢者福祉論		●		
21	SPO	2	37	障害者福祉論		●		
21	SPO	2	38	児童・家庭福祉論		●		
21	SPO	2	39	ソーシャルワーク実践論		●	●	
21	SPO	2	40	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		●	●	
21	SPO	2	41	社会福祉調査論			●	
21	SPO	2	42	社会保障論Ⅱ	●			●
21	SPO	2	43	公的扶助論		●		
21	SPO	2	44	権利擁護を支える法制度	●	●		
21	SPO	2	45	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ			●	
21	SPO	2	46	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ			●	
21	SPO	2	47	司法福祉論	●	●		
21	SPO	2	48	保健医療と福祉		●		
21	SPO	2	49	ソーシャルワーク演習Ⅰ		●	●	
21	SPO	2	50	ソーシャルワーク演習Ⅱ		●	●	
21	SPO	2	51	民法Ⅰ〔民法総則・物権〕	●			
21	SPO	2	52	行政法Ⅰ〔行政法総論〕	●			
21	SPO	2	53	世界史Ⅰ	●			
21	SPO	2	54	世界史Ⅱ	●			
21	SPO	2	55	地誌概説	●			
21	SPO	2	56	憲法Ⅰ〔人権〕	●			
21	SPO	3	01	社会保障法	●	●		
21	SPO	3	02	労働法	●			
21	SPO	3	03	租税法	●			
21	SPO	3	04	専門演習Ⅰ	●	●	●	●
21	SPO	3	05	専門演習Ⅱ	●	●	●	●
21	SPO	3	06	国際比較福祉論				●
21	SPO	3	07	国際経済学Ⅰ	●			
21	SPO	3	08	国際経済学Ⅱ	●			
21	SPO	3	09	青少年問題と社会教育	●			
21	SPO	3	10	ソーシャルワーク演習Ⅲ		●	●	
21	SPO	3	11	ソーシャルワーク演習Ⅳ		●	●	
21	SPO	3	12	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		●	●	
21	SPO	3	13	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		●	●	
21	SPO	3	14	社会福祉管理運営論		●		
21	SPO	3	15	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		●	●	
21	SPO	3	16	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ		●	●	
21	SPO	3	17	憲法Ⅱ〔統治機構〕	●			
21	SPO	3	18	職業指導	●			
21	SPO	3	19	社会福祉調査実習	●		●	
21	SPO	3	20	コミュニティワーク実習	●		●	
21	SPO	3	21	ソーシャルワーク実習		●	●	

21	SPO	4	01	専門演習Ⅲ	●	●	●	●
21	SPO	4	02	専門演習Ⅳ	●	●	●	●
21	SPO	4	03	社会教育演習	●			
21	SPO	4	04	卒業論文	●	●	●	●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

21 SPO 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

社会福祉学部 福祉臨床学科 カリキュラム・マップ

(2019～2020年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応				
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
ディプロマ・ポリシー	DP1	現代の流動的な社会において、常に人の尊厳と人権を尊重し、社会正義に基づいて広く社会を捉え・働きかけることのできる人格的な陶冶が成し遂げられている。				
	DP2	ソーシャルワークと社会福祉を理解し、地域社会における諸課題の解決に向けて、ジェネラリストまたはスペシャリスト・ソーシャルワーカーとして多様なクライアントの生活環境に応じた理論的・計画的な支援の実践展開能力を獲得している。				
	DP3	この社会を担う次世代を教育・支援することの意義を理解し、地域社会の重要な資源としての学校等において、教育指導とソーシャルワークを実践的に展開する能力を獲得している。				
	DP4	社会福祉および教育における多職種の連携と協働の重要性を理解し、それぞれの専門的な価値・知識・スキルを相互に理解し合い、実践的に連携・協働して人を支援し、誰もが住みやすい地域社会をつくり出そうとする姿勢を有している。				
	DP5	ソーシャルワークと教育の専門職として、日々の臨床実践の中で自ら学習し研究できる能力を獲得している。				
19 SWK 1 01	福祉臨床入門	●				●
19 SWK 1 02	社会福祉概説	●				
19 SWK 1 03	倫理学	●				
19 SWK 1 04	障害学	●				
19 SWK 1 05	社会福祉発達史	●	●			
19 SWK 1 06	福祉臨床基礎実習指導Ⅰ		●	●	●	
19 SWK 1 07	福祉臨床基礎実習指導Ⅱ		●	●	●	
19 SWK 1 08	公衆衛生				●	
19 SWK 1 09	心理学理論と心理的支援			●		
19 SWK 1 10	社会理論と社会システム	●			●	
19 SWK 1 11	ソーシャルワーク論Ⅰ		●			
19 SWK 1 12	社会保障論Ⅰ	●	●			
19 SWK 1 13	こどもの発達と社会			●	●	
19 SWK 1 14	成人・高齢者の生活と社会			●	●	
19 SWK 1 15	社会調査入門					●
19 SWK 1 16	経済学入門					●
19 SWK 2 01	相談援助入門実習		●		●	
19 SWK 2 02	ジェンダー・スタディーズ	●				
19 SWK 2 03	社会福祉の思想	●	●			
19 SWK 2 04	相談援助実践論		●		●	●
19 SWK 2 05	療法論Ⅰ				●	
19 SWK 2 06	医学知識Ⅰ				●	
19 SWK 2 07	医学知識Ⅱ				●	
19 SWK 2 08	ソーシャルワーク論Ⅱ		●			
19 SWK 2 09	ソーシャルワーク方法論Ⅰ		●			
19 SWK 2 10	ソーシャルワーク方法論Ⅱ		●			
19 SWK 2 11	高齢者福祉論		●		●	
19 SWK 2 12	障害者福祉論		●		●	
19 SWK 2 13	児童・家庭福祉論		●		●	
19 SWK 2 14	地域福祉論		●	●	●	
19 SWK 2 15	コミュニティワーク論		●	●	●	
19 SWK 2 16	医療福祉論		●		●	
19 SWK 2 17	司法福祉論				●	
19 SWK 2 18	社会福祉調査論					●
19 SWK 2 19	福祉行財政と福祉計画		●		●	
19 SWK 2 20	社会保障論Ⅱ	●	●			
19 SWK 2 21	公的扶助論	●	●			
19 SWK 2 22	権利擁護と成年後見制度	●	●			

19 SWK 2 23	相談援助実習指導Ⅰ		●	●	●	
19 SWK 2 24	精神疾患とその治療Ⅰ		●		●	
19 SWK 2 25	精神保健福祉相談援助の基盤（専門）		●		●	
19 SWK 2 26	精神保健福祉に関する制度とサービスⅠ		●		●	
19 SWK 2 27	知的障害者の心理	●		●		
19 SWK 2 28	肢体不自由者の心理	●		●		
19 SWK 2 29	病弱者の心理	●		●		
19 SWK 2 30	知的障害教育方法論Ⅰ			●		
19 SWK 2 31	知的障害教育方法論Ⅱ			●		
19 SWK 2 32	肢体不自由教育方法論			●		
19 SWK 2 33	病弱教育方法論			●		
19 SWK 2 34	重複障害・LD等教育論			●		
19 SWK 2 35	日本史Ⅰ〔前近代〕					●
19 SWK 2 36	日本史Ⅱ〔近現代〕					●
19 SWK 2 37	地理学					●
19 SWK 2 38	自然地理学					●
19 SWK 2 39	現代政治学	●				●
19 SWK 2 40	現代社会学	●				●
19 SWK 2 41	現代哲学	●				●
19 SWK 2 42	宗教学	●				●
19 SWK 2 43	社会思想史	●				●
19 SWK 2 44	国際政治学	●				●
19 SWK 2 45	相談援助演習Ⅰ		●	●	●	●
19 SWK 2 46	世界史Ⅰ					●
19 SWK 2 47	世界史Ⅱ					●
19 SWK 2 48	地誌概説					●
19 SWK 2 49	憲法Ⅰ〔人権〕	●				●
19 SWK 3 01	ケアマネジメント技術演習		●		●	
19 SWK 3 02	精神保健福祉援助演習（専門）Ⅰ		●		●	
19 SWK 3 03	福祉臨床研究法Ⅰ		●			●
19 SWK 3 04	施設ソーシャルワーク論		●		●	
19 SWK 3 05	地域ソーシャルワーク論		●	●	●	
19 SWK 3 06	子ども家庭ソーシャルワーク論		●	●	●	
19 SWK 3 07	障害者ソーシャルワーク論		●		●	
19 SWK 3 08	保健医療ソーシャルワーク論		●		●	
19 SWK 3 09	高齢者ソーシャルワーク論		●		●	
19 SWK 3 10	リハビリテーション論				●	
19 SWK 3 11	福祉臨床研究法Ⅱ					●
19 SWK 3 12	ケアマネジメント実践論		●		●	
19 SWK 3 13	療法論Ⅱ				●	
19 SWK 3 14	ソーシャルワーク実践理論Ⅰ		●	●		
19 SWK 3 15	ソーシャルワーク実践理論Ⅱ		●	●		
19 SWK 3 16	介護概論		●			
19 SWK 3 17	社会福祉管理運営論		●		●	
19 SWK 3 18	労災と就労支援		●			
19 SWK 3 19	相談援助演習Ⅱ		●	●	●	●
19 SWK 3 20	相談援助実習指導Ⅱ		●	●	●	
19 SWK 3 21	相談援助実習指導Ⅲ		●	●	●	
19 SWK 3 22	精神疾患とその治療Ⅱ		●		●	
19 SWK 3 23	精神保健の課題と支援Ⅰ		●		●	
19 SWK 3 24	精神保健の課題と支援Ⅱ		●		●	
19 SWK 3 25	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅰ		●		●	
19 SWK 3 26	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅱ		●		●	
19 SWK 3 27	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅲ		●		●	

19 SWK 3 28	精神保健福祉に関する制度とサービスⅡ		●		●	
19 SWK 3 29	精神保健福祉援助実習指導Ⅰ		●		●	
19 SWK 3 30	スクールソーシャルワーク論		●	●	●	
19 SWK 3 31	障害児教育論			●		
19 SWK 3 32	知的障害者の病理保健			●	●	
19 SWK 3 33	視覚障害教育論			●		
19 SWK 3 34	聴覚障害教育論			●		
19 SWK 3 35	国際経済学Ⅰ	●				●
19 SWK 3 36	国際経済学Ⅱ	●				●
19 SWK 3 37	障害児教育実習			●		
19 SWK 3 38	福祉臨床専門演習	●	●	●	●	●
19 SWK 3 39	憲法Ⅱ〔統治機構〕	●				●
19 SWK 3 40	相談援助実習		●	●	●	
19 SWK 3 41	肢体不自由者の病理保健			●	●	
19 SWK 3 42	病弱者の病理保健			●	●	
19 SWK 4 01	精神保健福祉援助演習（専門）Ⅱ		●		●	
19 SWK 4 02	スクールソーシャルワーク演習		●	●	●	
19 SWK 4 03	スクールソーシャルワーク実習指導		●	●	●	
19 SWK 4 04	精神保健福祉の理論と相談援助の展開Ⅳ		●		●	
19 SWK 4 05	精神障害者の生活支援システム				●	
19 SWK 4 06	スクールソーシャルワーク実習		●	●	●	
19 SWK 4 07	精神保健福祉援助実習指導Ⅱ		●		●	
19 SWK 4 08	福祉臨床応用実習		●	●	●	●
19 SWK 4 09	卒業論文	●	●	●	●	●
19 SWK 4 10	精神保健福祉援助実習		●		●	

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 SWK 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

社会福祉学部 福祉臨床学科 カリキュラム・マップ

(2021～2022年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応				
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
ディプロマ・ポリシー	DP1	現代の流動的な社会において、常に人の尊厳と人権を尊重し、社会正義に基づいて広く社会を捉え・働きかけることのできる人格的な陶冶が成し遂げられている。				
	DP2	ソーシャルワークと社会福祉を理解し、地域社会における諸課題の解決に向けて、ジェネラリストまたはスペシャリスト・ソーシャルワーカーとして多様なクライアントの生活環境に応じた理論的・計画的な支援の実践展開能力を獲得している。				
	DP3	この社会を担う次世代を教育・支援することの意義を理解し、地域社会の重要な資源としての学校等において、教育指導とソーシャルワークを実践的に展開する能力を獲得している。				
	DP4	社会福祉および教育における多職種の連携と協働の重要性を理解し、それぞれの専門的な価値・知識・スキルを相互に理解し合い、実践的に連携・協働して人を支援し、誰もが住みやすい地域社会をつくり出そうとする姿勢を有している。				
	DP5	ソーシャルワークと教育の専門職として、日々の臨床実践の中で自ら学習し研究できる能力を獲得している。				
21 SWK 1 01	福祉臨床入門	●				●
21 SWK 1 02	社会福祉概説Ⅰ	●				
21 SWK 1 03	社会福祉概説Ⅱ	●				
21 SWK 1 04	倫理学	●				
21 SWK 1 05	障害学	●				
21 SWK 1 06	社会福祉発達史	●	●			
21 SWK 1 07	福祉臨床基礎実習指導		●	●	●	
21 SWK 1 08	公衆衛生				●	
21 SWK 1 09	心理学と心理的支援			●		
21 SWK 1 10	社会学と社会システム	●			●	
21 SWK 1 11	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰ		●			
21 SWK 1 12	社会保障論Ⅰ	●	●			
21 SWK 1 13	こどもの発達と社会			●	●	
21 SWK 1 14	成人・高齢者の生活と社会			●	●	
21 SWK 1 15	社会調査入門					●
21 SWK 1 16	経済学入門					●
21 SWK 2 01	ソーシャルワーク入門実習		●		●	
21 SWK 2 02	ジェンダー・スタディーズ	●				
21 SWK 2 03	社会福祉の思想	●	●			
21 SWK 2 04	ソーシャルワーク実践論		●		●	●
21 SWK 2 05	療法論Ⅰ				●	
21 SWK 2 06	医学概論				●	
21 SWK 2 07	ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ		●			
21 SWK 2 08	ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		●			
21 SWK 2 09	ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		●			
21 SWK 2 10	高齢者福祉論		●		●	
21 SWK 2 11	障害者福祉論		●		●	
21 SWK 2 12	児童・家庭福祉論		●		●	
21 SWK 2 13	地域福祉と包括的支援体制Ⅰ		●	●	●	
21 SWK 2 14	地域福祉と包括的支援体制Ⅱ		●	●	●	
21 SWK 2 15	保健医療と福祉		●		●	
21 SWK 2 16	司法福祉論				●	
21 SWK 2 17	社会福祉調査論					●
21 SWK 2 18	社会保障論Ⅱ	●	●			
21 SWK 2 19	公的扶助論	●	●			
21 SWK 2 20	権利擁護を支える法制度	●	●			
21 SWK 2 21	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		●	●	●	

21 SWK 2 22	精神医学と精神医療Ⅰ		●		●	
21 SWK 2 23	精神保健福祉の原理Ⅰ		●		●	
21 SWK 2 24	知的障害者の心理	●		●		
21 SWK 2 25	肢体不自由者の心理	●		●		
21 SWK 2 26	病弱者の心理	●		●		
21 SWK 2 27	知的障害教育方法論Ⅰ			●		
21 SWK 2 28	知的障害教育方法論Ⅱ			●		
21 SWK 2 29	肢体不自由教育方法論			●		
21 SWK 2 30	病弱教育方法論			●		
21 SWK 2 31	重複障害・LD等教育論			●		
21 SWK 2 32	日本史Ⅰ〔前近代〕					●
21 SWK 2 33	日本史Ⅱ〔近現代〕					●
21 SWK 2 34	地理学					●
21 SWK 2 35	自然地理学					●
21 SWK 2 36	現代政治学	●				●
21 SWK 2 37	現代社会学	●				●
21 SWK 2 38	現代哲学	●				●
21 SWK 2 39	宗教学	●				●
21 SWK 2 40	社会思想史	●				●
21 SWK 2 41	国際政治学	●				●
21 SWK 2 42	ソーシャルワーク演習Ⅰ		●	●	●	●
21 SWK 2 43	ソーシャルワーク演習Ⅱ		●	●	●	●
21 SWK 2 44	世界史Ⅰ					●
21 SWK 2 45	世界史Ⅱ					●
21 SWK 2 46	地誌概説					●
21 SWK 2 47	憲法Ⅰ〔人権〕	●				●
21 SWK 3 01	ケアマネジメント技術演習		●		●	
21 SWK 3 02	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ		●		●	
21 SWK 3 03	福祉臨床研究法Ⅰ		●			●
21 SWK 3 04	施設ソーシャルワーク論		●		●	
21 SWK 3 05	地域ソーシャルワーク論		●	●	●	
21 SWK 3 06	子ども家庭ソーシャルワーク論		●	●	●	
21 SWK 3 07	障害者ソーシャルワーク論		●		●	
21 SWK 3 08	高齢者ソーシャルワーク論		●		●	
21 SWK 3 09	保健医療ソーシャルワーク論		●		●	
21 SWK 3 10	リハビリテーション論				●	
21 SWK 3 11	福祉臨床研究法Ⅱ					●
21 SWK 3 12	ケアマネジメント実践論		●		●	
21 SWK 3 13	療法論Ⅱ				●	
21 SWK 3 14	ソーシャルワークの理論と方法Ⅲ		●	●		
21 SWK 3 15	ソーシャルワークの理論と方法Ⅳ		●	●		
21 SWK 3 16	社会福祉管理運営論		●		●	
21 SWK 3 17	ソーシャルワーク演習Ⅲ		●	●	●	●
21 SWK 3 18	ソーシャルワーク演習Ⅳ		●	●	●	●
21 SWK 3 19	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		●	●	●	
21 SWK 3 20	ソーシャルワーク実習指導Ⅲ		●	●	●	
21 SWK 3 21	精神医学と精神医療Ⅱ		●		●	
21 SWK 3 22	精神保健福祉の原理Ⅱ		●		●	
21 SWK 3 23	現代の精神保健の課題と支援Ⅰ		●		●	
21 SWK 3 24	現代の精神保健の課題と支援Ⅱ		●		●	
21 SWK 3 25	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅰ		●		●	
21 SWK 3 26	精神障害リハビリテーション論		●		●	
21 SWK 3 27	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ		●		●	
21 SWK 3 28	スクールソーシャルワーク論		●	●	●	

21 SWK 3 29	障害児教育論				●		
21 SWK 3 30	知的障害者の病理保健				●	●	
21 SWK 3 31	視覚障害教育論				●		
21 SWK 3 32	聴覚障害教育論				●		
21 SWK 3 33	国際経済学Ⅰ	●					●
21 SWK 3 34	国際経済学Ⅱ	●					●
21 SWK 3 35	障害児教育実習				●		
21 SWK 3 36	福祉臨床専門演習	●	●		●	●	●
21 SWK 3 37	憲法Ⅱ〔統治機構〕	●					●
21 SWK 3 38	ソーシャルワーク実習		●		●	●	
21 SWK 3 39	肢体不自由者の病理保健				●	●	
21 SWK 3 40	病弱者の病理保健				●	●	
21 SWK 4 01	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ		●			●	
21 SWK 4 02	スクールソーシャルワーク演習		●		●	●	
21 SWK 4 03	スクールソーシャルワーク実習指導		●		●	●	
21 SWK 4 04	精神保健ソーシャルワークの理論と方法Ⅱ		●			●	
21 SWK 4 05	精神保健福祉制度論					●	
21 SWK 4 06	スクールソーシャルワーク実習		●		●	●	
21 SWK 4 07	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ		●			●	
21 SWK 4 08	福祉臨床応用実習		●		●	●	●
21 SWK 4 09	卒業論文	●	●		●	●	●
21 SWK 4 10	精神保健ソーシャルワーク実習		●			●	

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー（DP）との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

21 SWK 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

社会福祉学部 心理学科 カリキュラム・マップ

(2019～2022年度入学生用)

ディプロマ・ポリシー	DP1	心理学および隣接諸科学の理論や概念について幅広く関心を持ち、自己、他者、社会関係などに関する総合的な知識を習得することができる。 科学的な心理学の知識を、医療、教育、福祉などの領域に応用し、実践的に活用することができる。
	DP2	心理社会的な人間のこころの仕組みやそこに発生する諸問題に関して、心理学の見地から理論的考察を行い、それを適切に表現することができる。 こころの仕組みや病理にかかわる問題を発見し、解決するために、心理学的な知見に基づいて適切な判断をすることができる。
	DP3	こころの諸問題を検証するために適切な研究計画を設定し、入手したデータを統計的に分析することができる。 日常生活において他者と円滑なコミュニケーションをはかったり、対人援助場面において相談者の心理査定や心理療法を行うために、社会的及び臨床的なスキルを役立てることができる。
	DP4	心理学および隣接諸科学の専門知識や研究法について、能動的学修や他者との協働的学習によって学ぶ意欲を持っている。 卒業後もキャリアを通じて自己研鑽を続け、自らの持つ心理学の知識を応用して、心理社会的な問題に関して解決策を検討することができる。

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応			
		DP1	DP2	DP3	DP4
19 TWB 1 01	心理学概論	●			
19 TWB 1 02	心理学研究法			●	●
19 TWB 1 03	心理学統計法			●	
19 TWB 1 04	心理学理論と心理的支援	●			
19 TWB 1 05	社会理論と社会システム	●			
19 TWB 1 06	福祉社会学	●			
19 TWB 1 07	ジェンダー論	●			
19 TWB 1 08	社会福祉入門	●			
19 TWB 1 09	経済学入門				●
19 TWB 1 10	憲法Ⅰ〔人権〕				●
19 TWB 2 01	心理調査法			●	
19 TWB 2 02	学習・言語心理学	●			
19 TWB 2 03	神経・生理心理学	●			
19 TWB 2 04	知覚・認知心理学	●			
19 TWB 2 05	感情・人格心理学	●			
19 TWB 2 06	心理学的支援法	●	●		●
19 TWB 2 07	臨床心理学概論	●	●		
19 TWB 2 08	知的障害者の心理		●		
19 TWB 2 09	肢体不自由者の心理		●		
19 TWB 2 10	病弱者の心理		●		
19 TWB 2 11	心理的アセスメント		●	●	
19 TWB 2 12	グループダイナミックス	●			
19 TWB 2 13	社会・集団・家族心理学	●			
19 TWB 2 14	産業・組織心理学	●			
19 TWB 2 15	臨床社会心理学	●			
19 TWB 2 16	ケアマネジメント論		●		
19 TWB 2 17	福祉財政論	●			
19 TWB 2 18	教育心理学	●			
19 TWB 2 19	教育相談論	●			
19 TWB 2 20	発達心理学	●			
19 TWB 2 21	教育・学校心理学	●			
19 TWB 2 22	特別支援教育総論	●			
19 TWB 2 23	知的障害教育方法論Ⅰ	●			
19 TWB 2 24	知的障害教育方法論Ⅱ	●			
19 TWB 2 25	肢体不自由教育方法論	●			

19	TWB	2	26	病弱教育方法論	●				
19	TWB	2	27	重複障害・LD等教育論	●				
19	TWB	2	28	人体の構造と機能及び疾病	●				
19	TWB	2	29	健康・医療心理学	●				
19	TWB	2	30	障害者・障害児心理学	●				
19	TWB	2	31	社会福祉の思想	●				
19	TWB	2	32	障害者福祉論	●				
19	TWB	2	33	知的障害者の臨床心理		●			
19	TWB	2	34	福祉心理医学	●				
19	TWB	2	35	現代政治学					●
19	TWB	2	36	現代社会学					●
19	TWB	2	37	現代哲学					●
19	TWB	2	38	宗教学					●
19	TWB	2	39	国際政治学					●
19	TWB	2	40	心理学実験		●	●		●
19	TWB	2	41	憲法Ⅱ〔統治機構〕					●
19	TWB	3	01	多変量解析法				●	
19	TWB	3	02	心理学実験特殊実習		●	●	●	●
19	TWB	3	03	専門演習Ⅰ	●	●	●	●	●
19	TWB	3	04	専門演習Ⅱ	●	●	●	●	●
19	TWB	3	05	司法・犯罪心理学	●				
19	TWB	3	06	公認心理師の職責	●	●			
19	TWB	3	07	関係行政論	●				
19	TWB	3	08	心理演習	●	●	●		●
19	TWB	3	09	ソーシャルスキル実習	●			●	
19	TWB	3	10	臨床発達心理学		●			
19	TWB	3	11	障害児教育論	●				
19	TWB	3	12	視覚障害教育論	●				
19	TWB	3	13	聴覚障害教育論	●				
19	TWB	3	14	精神疾患とその治療	●	●			
19	TWB	3	15	知的障害者の病理保健	●				
19	TWB	3	16	肢体不自由者の病理保健	●				
19	TWB	3	17	病弱者の病理保健	●				
19	TWB	3	18	社会思想史					●
19	TWB	3	19	国際経済学Ⅰ					●
19	TWB	3	20	国際経済学Ⅱ					●
19	TWB	3	21	障害児教育実習	●				
19	TWB	3	22	知的障害者の心理検査実習		●	●		
19	TWB	4	01	専門演習Ⅲ	●	●	●	●	●
19	TWB	4	02	専門演習Ⅳ	●	●	●	●	●
19	TWB	4	03	心理実習	●	●	●	●	●
19	TWB	4	04	卒業論文	●	●	●	●	●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 TWB 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

社会福祉学部 心理学科 カリキュラム・マップ

(2023年度以降入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応				
		DP1	DP2	DP3	DP4	DP5
ディプロマ・ポリシー	DP1	心理学および隣接諸科学の理論や概念について幅広く関心を持ち、自己、他者、社会関係などに関する総合的な知識を有し、その知識を、医療、教育、福祉などの領域に応用して実践的に活用することができる。				
	DP2	人間のこころの仕組みやそこに発生する心理社会的な諸問題に関して、総合的で幅広い心理学の見地から検証するために研究倫理指針に則った適切な研究計画を設定・実行し、データとその解析結果に基づいて理論的考察を行い、それを適切に表現することができる。				
	DP3	こころの仕組みや病にかかわる問題を発見し、解決するために、心理学的な知見に基づいて適切な判断をすることができる。				
	DP4	日常生活において他者と円滑なコミュニケーションをはかったり、対人援助場面において相談者の心理査定や心理療法を行うために、社会的及び臨床的なスキルを役立てることができる。				
	DP5	心理学および隣接諸科学の専門知識や研究法について、能動的学修や他者との協働的学習によって学ぶ意欲を持ち続け、卒業後もキャリアを通じて自己研鑽を続けることができる。				
23 SPH 1 01	心理学概論	●				
23 SPH 1 02	心理学研究法		●			●
23 SPH 1 03	心理学統計法		●			●
23 SPH 1 04	心理学理論と心理的支援	●		●		
23 SPH 1 05	社会理論と社会システム	●				
23 SPH 1 06	ジェンダー論	●				
23 SPH 1 07	社会福祉入門	●				
23 SPH 1 08	憲法Ⅰ〔人権〕					●
23 SPH 2 01	心理学実験		●			●
23 SPH 2 02	心理調査法		●			●
23 SPH 2 03	学習・言語心理学	●				
23 SPH 2 04	神経・生理心理学	●				
23 SPH 2 05	知覚・認知心理学	●				
23 SPH 2 06	感情・人格心理学	●				
23 SPH 2 07	心理学的支援法	●		●	●	●
23 SPH 2 08	臨床心理学概論	●		●		
23 SPH 2 09	知的障害者の心理			●		
23 SPH 2 10	肢体不自由者の心理			●		
23 SPH 2 11	病弱者の心理			●		
23 SPH 2 12	心理的アセスメント			●	●	
23 SPH 2 13	グループダイナミクス	●				
23 SPH 2 14	社会・集団・家族心理学	●				
23 SPH 2 15	産業・組織心理学	●				
23 SPH 2 16	臨床社会心理学	●				
23 SPH 2 17	福祉財政論	●				
23 SPH 2 18	教育心理学	●				
23 SPH 2 19	教育相談論	●				
23 SPH 2 20	発達心理学	●				
23 SPH 2 21	教育・学校心理学	●				
23 SPH 2 22	特別支援教育総論	●				
23 SPH 2 23	知的障害教育方法論Ⅰ	●				
23 SPH 2 24	知的障害教育方法論Ⅱ	●				
23 SPH 2 25	肢体不自由教育方法論	●				
23 SPH 2 26	病弱教育方法論	●				
23 SPH 2 27	重複障害・LD等教育論	●				
23 SPH 2 28	人体の構造と機能及び疾病	●				
23 SPH 2 29	健康・医療心理学	●				

23	SPH	2	30	障害者・障害児心理学	●					
23	SPH	2	31	社会福祉の思想	●					
23	SPH	2	32	障害者福祉論	●					
23	SPH	2	33	知的障害者の臨床心理	●		●			
23	SPH	2	34	福祉心理学	●					
23	SPH	2	35	現代政治学						●
23	SPH	2	36	現代社会学						●
23	SPH	2	37	現代哲学						●
23	SPH	2	38	宗教学						●
23	SPH	2	39	憲法Ⅱ〔統治機構〕						●
23	SPH	3	01	多変量解析法		●				
23	SPH	3	02	心理学実験特殊実習		●				●
23	SPH	3	03	専門演習Ⅰ	●	●	●	●	●	●
23	SPH	3	04	専門演習Ⅱ	●	●	●	●	●	●
23	SPH	3	05	司法・犯罪心理学	●					
23	SPH	3	06	公認心理師の職責	●		●	●		
23	SPH	3	07	関係行政論	●					
23	SPH	3	08	心理演習	●	●	●	●	●	●
23	SPH	3	09	ソーシャルスキル実習	●			●		
23	SPH	3	10	臨床発達心理学	●		●			
23	SPH	3	11	障害児教育論	●					
23	SPH	3	12	視覚障害教育論	●					
23	SPH	3	13	聴覚障害教育論	●					
23	SPH	3	14	障害児教育実習	●					
23	SPH	3	15	精神疾患とその治療	●		●			
23	SPH	3	16	知的障害者の心理検査実習			●	●		
23	SPH	3	17	知的障害者の病理保健	●					
23	SPH	3	18	肢体不自由者の病理保健	●					
23	SPH	3	19	病弱者の病理保健	●					
23	SPH	3	20	社会思想史						●
23	SPH	3	21	国際政治学						●
23	SPH	3	22	国際経済学Ⅰ						●
23	SPH	3	23	日本経済論Ⅰ						●
23	SPH	4	01	専門演習Ⅲ	●	●	●	●	●	●
23	SPH	4	02	専門演習Ⅳ	●	●	●	●	●	●
23	SPH	4	03	卒業論文	●	●	●	●	●	●
23	SPH	4	04	心理実習	●	●	●	●	●	●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

23 SPH 1 01

① ② ③ ④

①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

短大一般教育科目 カリキュラム・マップ (2019～2023年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	キリスト教による人格教育を通じ、広い教養と、専門の知識・技術を深く修得し、社会において、知的、応用的能力を発揮することができるようになること。		
	DP2	愛と奉仕に生きる自由な人間という、人間の基本的なあり方と姿勢を問い続け、自らの生き方を探求し、実践していくことができるようになること。		
	DP3	知性と豊かな人間性を備え、社会の諸情勢や問題に深い関心を持ち、その発展と問題解決に関わる姿勢や心を持ち続けることができるようになること。		
19 JGE 1 01	法学	●		
19 JGE 1 02	経済学Ⅰ	●		
19 JGE 1 03	経済学Ⅱ	●		
19 JGE 1 04	社会学Ⅰ	●		●
19 JGE 1 05	社会学Ⅱ	●		●
19 JGE 1 06	心理学Ⅰ	●		
19 JGE 1 07	心理学Ⅱ	●		
19 JGE 1 08	科学概論	●		
19 JGE 1 09	ジェンダー論	●	●	
19 JGE 1 10	生命の科学	●		●
19 JGE 1 11	健康の科学	●		●
19 JGE 1 12	環境の科学	●		●
19 JGE 1 13	音楽と文化	●	●	
19 JGE 1 14	美術と文化	●	●	
19 JGE 1 15	人間と思想	●		●
19 JGE 1 16	数の世界	●		●
19 JGE 1 17	英語Ⅰ	●		
19 JGE 1 18	英語Ⅱ	●		
19 JGE 1 19	英語Ⅴ	●		
19 JGE 1 20	英語Ⅵ	●		
19 JGE 1 21	英語Ⅶ	●		
19 JGE 1 22	英語Ⅷ	●		
19 JGE 1 23	ドイツ語Ⅰ	●		
19 JGE 1 24	ドイツ語Ⅱ	●		
19 JGE 1 25	フランス語Ⅰ	●		
19 JGE 1 26	フランス語Ⅱ	●		
19 JGE 1 27	ハンガールⅠ	●		
19 JGE 1 28	ハンガールⅡ	●		
19 JGE 1 29	中国語Ⅰ	●		
19 JGE 1 30	中国語Ⅱ	●		
19 JGE 1 31	スポーツⅠ	●	●	
19 JGE 1 32	スポーツⅡ	●	●	
19 JGE 1 33	キリスト教学Ⅰ	●		
19 JGE 2 01	英語Ⅲ	●		
19 JGE 2 02	英語Ⅳ	●		
19 JGE 2 03	ドイツ語Ⅲ	●		
19 JGE 2 04	ドイツ語Ⅳ	●		
19 JGE 2 05	フランス語Ⅲ	●		
19 JGE 2 06	フランス語Ⅳ	●		
19 JGE 2 07	ハンガールⅢ	●		
19 JGE 2 08	ハンガールⅣ	●		
19 JGE 2 09	中国語Ⅲ	●		
19 JGE 2 10	中国語Ⅳ	●		
19 JGE 2 11	キリスト教学Ⅱ	●		

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にして下さい。

(例)

19 JGE 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

短期大学部 英文学科 カリキュラム・マップ

(2019～2022年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応			
		DP1	DP2	DP3	DP4
ディプロマ・ポリシー	DP1	実践に重点を置いた「生きた英語」を身につけ、豊かな国際感覚を有している。			
	DP2	世界に通じるコミュニケーション手段としての英語の基本的な能力である、「聴く・話す・読む・書く」を磨き、さらに「知る・使う」能力を身につけている。			
	DP3	英語を通じ、様々な国の人々と心をひらいて交流し、国際的視野と判断力を養い、社会に奉仕・貢献することができる。			
	DP4	社会人としての教養と実践的知識を身につけている。			
19 JEN 1 01	発音法Ⅰ	●	●		
19 JEN 1 02	発音法Ⅱ	●	●		
19 JEN 1 03	リスニング・スキルⅠ	●	●		
19 JEN 1 04	リスニング・スキルⅡ	●	●		
19 JEN 1 05	オーラル・イングリッシュⅠ	●	●	●	●
19 JEN 1 06	オーラル・イングリッシュⅡ	●	●	●	●
19 JEN 1 07	英作文Ⅰ	●	●		
19 JEN 1 08	英作文Ⅱ	●	●		
19 JEN 1 09	リーディング・スキルⅠ	●	●		
19 JEN 1 10	リーディング・スキルⅡ	●	●		
19 JEN 1 11	ボキャブラリー・ビルディングⅠ	●	●		
19 JEN 1 12	ボキャブラリー・ビルディングⅡ	●	●		
19 JEN 1 13	英文法Ⅰ	●	●		
19 JEN 1 14	英文法Ⅱ	●	●		
19 JEN 1 15	スタディ・スキルⅠ				●
19 JEN 1 16	アセンブリⅠ				●
19 JEN 1 17	コミュニケーション・スキル		●		
19 JEN 1 18	国語表現法				●
19 JEN 1 19	海外研修A	●	●	●	●
19 JEN 1 20	海外研修BⅠ	●	●	●	
19 JEN 1 21	海外研修BⅡ	●	●	●	●
19 JEN 1 22	海外事情	●	●	●	●
19 JEN 1 23	通訳法Ⅰ		●		●
19 JEN 1 24	英語技能演習Ⅰ		●		
19 JEN 1 25	英語技能演習Ⅱ		●		
19 JEN 1 26	訳読演習Ⅰ		●		●
19 JEN 1 27	訳読演習Ⅱ		●		●
19 JEN 1 28	グローバル・インターンシップ	●	●	●	●
19 JEN 1 29	総合講義ホスピタリティ			●	●
19 JEN 1 30	イングリッシュ・バイブルⅠ			●	●
19 JEN 1 31	イングリッシュ・バイブルⅡ			●	●
19 JEN 1 32	情報入門				●
19 JEN 1 33	情報活用				●
19 JEN 1 34	Japan StudiesⅠ	●	●		●
19 JEN 1 35	Japan StudiesⅡ	●	●		●
19 JEN 2 01	オーラル・イングリッシュⅢ	●	●	●	●
19 JEN 2 02	オーラル・イングリッシュⅣ	●	●	●	●
19 JEN 2 03	スタディ・スキルⅡ				●
19 JEN 2 04	アセンブリⅡ				●
19 JEN 2 05	英米文学Ⅰ			●	●
19 JEN 2 06	英米文学Ⅱ			●	●
19 JEN 2 07	ビジネス・イングリッシュⅠ	●	●	●	●

19	JEN	2	08	ビジネス・イングリッシュ II	●	●	●	●
19	JEN	2	09	リスニング・スキル III	●	●		
19	JEN	2	10	リスニング・スキル IV	●	●		
19	JEN	2	11	英語学 I			●	
19	JEN	2	12	英語学 II			●	
19	JEN	2	13	日本語教授法				●
19	JEN	2	14	英語教育入門 I			●	
19	JEN	2	15	英語教育入門 II			●	
19	JEN	2	16	通訳法 II		●		●
19	JEN	2	17	Tour Guiding and Interpreting	●		●	●
19	JEN	2	18	日英言語比較 I			●	●
19	JEN	2	19	日英言語比較 II			●	●
19	JEN	2	20	英語技能演習 III		●		
19	JEN	2	21	比較文化 I			●	●
19	JEN	2	22	比較文化 II			●	●
19	JEN	2	23	ホスピタリティと観光			●	●
19	JEN	2	24	エクステンシブ・リーディング I	●	●		
19	JEN	2	25	エクステンシブ・リーディング II	●	●		
19	JEN	2	26	Geography (地理) I	●	●		●
19	JEN	2	27	Geography (地理) II	●	●		●
19	JEN	2	28	History (歴史) I	●	●		●
19	JEN	2	29	History (歴史) II	●	●		●
19	JEN	2	30	Intercultural Communication (異文化コミュニケーション) I	●	●	●	●
19	JEN	2	31	Intercultural Communication (異文化コミュニケーション) II	●	●	●	●
19	JEN	2	32	Life Science (ライフサイエンス) I	●	●		●
19	JEN	2	33	Life Science (ライフサイエンス) II	●	●		●
19	JEN	2	34	Anthopology (人類学) I	●	●		●
19	JEN	2	35	Anthopology (人類学) II	●	●		●
19	JEN	2	36	Introduction to Sports Theory (スポーツ概論)	●	●		●
19	JEN	2	37	Ainu and Maori Studies (アイヌとマオリ研究)	●	●		●
19	JEN	2	38	Perspective in Literature (文学概論) I	●	●		●
19	JEN	2	39	Perspective in Literature (文学概論) II	●	●		●
19	JEN	2	40	International Business (国際ビジネス)	●	●	●	●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 JEN 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

短期大学部 英文学科 カリキュラム・マップ

(2023年度以降入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
ディプロマ・ポリシー	DP1	英語を通じて様々な国の人々と自信を持って関わり、国際的な視野で社会の諸課題を理解し、自分の意見を表現することができる。		
	DP2	異文化を理解する能力、総合的な英語力、判断力、コミュニケーション能力を発揮し、社会の一員として貢献することができる。		
	DP3	社会人としての教養と実践的知識を身につけている。		
23 JEN 1 01	発音法Ⅰ	●	●	
23 JEN 1 02	発音法Ⅱ	●	●	
23 JEN 1 03	リスニング・スキルⅠ	●	●	
23 JEN 1 04	リスニング・スキルⅡ	●	●	
23 JEN 1 05	オーラル・イングリッシュⅠ	●	●	●
23 JEN 1 06	オーラル・イングリッシュⅡ	●	●	●
23 JEN 1 07	英作文Ⅰ	●	●	
23 JEN 1 08	英作文Ⅱ	●	●	
23 JEN 1 09	リーディング・スキルⅠ	●	●	
23 JEN 1 10	リーディング・スキルⅡ	●	●	
23 JEN 1 11	ポキャブラリー・ビルディングⅠ	●	●	
23 JEN 1 12	ポキャブラリー・ビルディングⅡ	●	●	
23 JEN 1 13	英文法Ⅰ	●	●	
23 JEN 1 14	英文法Ⅱ	●	●	
23 JEN 1 15	スタディ・スキルⅠ			●
23 JEN 1 16	アセンブリⅠ			●
23 JEN 1 17	Business Communication in English Ⅰ	●	●	●
23 JEN 1 18	Business Communication in English Ⅱ	●	●	●
23 JEN 1 19	国語表現法			●
23 JEN 1 20	海外研修A	●	●	●
23 JEN 1 21	海外研修BⅠ	●	●	
23 JEN 1 22	海外研修BⅡ	●	●	●
23 JEN 1 23	海外事情	●	●	●
23 JEN 1 24	通訳法Ⅰ		●	●
23 JEN 1 25	英語技能演習Ⅰ		●	
23 JEN 1 26	英語技能演習Ⅱ		●	
23 JEN 1 27	グローバル・インターンシップ	●	●	●
23 JEN 1 28	総合講義ホスピタリティ		●	●
23 JEN 1 29	イングリッシュ・バイブルⅠ		●	●
23 JEN 1 30	イングリッシュ・バイブルⅡ		●	●
23 JEN 1 31	情報入門			●
23 JEN 1 32	情報活用			●
23 JEN 1 33	Japan Studies Ⅰ	●	●	●
23 JEN 1 34	Japan Studies Ⅱ	●	●	●
23 JEN 2 01	オーラル・イングリッシュⅢ	●	●	●
23 JEN 2 02	オーラル・イングリッシュⅣ	●	●	●
23 JEN 2 03	スタディ・スキルⅡ			●
23 JEN 2 04	アセンブリⅡ			●
23 JEN 2 05	英米文学Ⅰ		●	●
23 JEN 2 06	英米文学Ⅱ		●	●
23 JEN 2 07	リスニング・スキルⅢ	●	●	
23 JEN 2 08	リスニング・スキルⅣ	●	●	
23 JEN 2 09	英語学Ⅰ		●	
23 JEN 2 10	英語学Ⅱ		●	

23	JEN	2	11	日本語教授法			●
23	JEN	2	12	英語教育入門Ⅰ		●	
23	JEN	2	13	英語教育入門Ⅱ		●	
23	JEN	2	14	通訳法Ⅱ		●	●
23	JEN	2	15	Tour Guiding and Interpreting	●	●	●
23	JEN	2	16	日英言語比較Ⅰ		●	●
23	JEN	2	17	日英言語比較Ⅱ		●	●
23	JEN	2	18	英語技能演習Ⅲ		●	
23	JEN	2	19	比較文化Ⅰ		●	●
23	JEN	2	20	比較文化Ⅱ		●	●
23	JEN	2	21	ホスピタリティと観光		●	●
23	JEN	2	22	エクステンシブ・リーディングⅠ	●	●	
23	JEN	2	23	エクステンシブ・リーディングⅡ	●	●	
23	JEN	2	24	Geography (地理)Ⅰ	●	●	●
23	JEN	2	25	Geography (地理)Ⅱ	●	●	●
23	JEN	2	26	Intercultural Communication (異文化コミュニケーション)Ⅰ	●	●	●
23	JEN	2	27	Intercultural Communication (異文化コミュニケーション)Ⅱ	●	●	●
23	JEN	2	28	Life Science (ライフサイエンス)Ⅰ	●	●	
23	JEN	2	29	Life Science (ライフサイエンス)Ⅱ	●	●	
23	JEN	2	30	Anthropology (人類学)Ⅰ	●	●	●
23	JEN	2	31	Anthropology (人類学)Ⅱ	●	●	●
23	JEN	2	32	Introduction to Sports Theory (スポーツ概論)	●	●	●
23	JEN	2	33	Ainu and Maori Studies (アイヌとマオリ研究)	●	●	●
23	JEN	2	34	Perspectives in Literature (文学概論)Ⅰ	●	●	●
23	JEN	2	35	Perspectives in Literature (文学概論)Ⅱ	●	●	●
23	JEN	2	36	International Business (国際ビジネス)	●	●	●

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

23 JEN 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

短期大学部 生活創造学科 カリキュラム・マップ (2019～2022年度入学生用)

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応	
		DP1	DP2
ディプロマ・ポリシー	DP1	人の生活を総合的・複合的・科学的にとらえる知識・技術を有し、生活に内在する問題を発見して適切に表現する能力、そして新しい生活方法を発想、実践する能力を持ち、主体的・能動的に生活の知的創造ができる。	
	DP2	時代のニーズを敏感に察知する感受性と、社会人として求められる知識、他者と協調できる豊かな人間性と表現力を獲得する。	
19 LCS 1 01	生活学基礎演習Ⅰ	●	●
19 LCS 1 02	生活学基礎演習Ⅱ	●	●
19 LCS 1 03	基礎情報処理		●
19 LCS 1 04	生活文化創造論	●	
19 LCS 1 05	生活経済創造論	●	
19 LCS 1 07	アセンブリⅠ	●	●
19 LCS 1 09	ファッション・アパレルビジネス		●
19 LCS 1 10	生活福祉論	●	
19 LCS 1 11	家族文化論	●	
19 LCS 1 13	現代子ども論		●
19 LCS 1 14	社会心理学	●	
19 LCS 1 15	生活支援実習		●
19 LCS 1 16	生活とサービス産業		●
19 LCS 1 17	現代社会と企業		●
19 LCS 1 18	ビジネスコンピューティング		●
19 LCS 1 19	生活情報論	●	
19 LCS 1 20	応用情報処理		●
19 LCS 1 21	Webパブリッシング		●
19 LCS 1 22	マルチメディア		●
19 LCS 1 23	住生活論	●	
19 LCS 1 24	住設計基礎実習	●	
19 LCS 1 26	インテリアデザイン演習	●	
19 LCS 1 27	住宅空間設計演習	●	
19 LCS 1 28	生活創造と色彩		●
19 LCS 1 29	基礎デッサン	●	
19 LCS 1 30	グラフィックデザイン論	●	
19 LCS 1 31	デジタルグラフィックス基礎	●	
19 LCS 1 32	海外の生活と文化	●	●
19 LCS 1 33	簿記・会計		●
19 LCS 1 34	日本語表現法		●
19 LCS 1 35	現代女性とキャリア		●
19 LCS 1 36	生活と資産	●	
19 LCS 2 01	アセンブリⅡ	●	●
19 LCS 2 02	生活創造専門演習	●	●
19 LCS 2 03	社会調査法	●	
19 LCS 2 04	発達心理学		●
19 LCS 2 05	生活心理学	●	
19 LCS 2 06	カウンセリング論		●
19 LCS 2 07	生活心理学研究法	●	
19 LCS 2 08	流通マーケティング論		●
19 LCS 2 09	生活と金融保険		●
19 LCS 2 10	現代社会と消費者問題		●
19 LCS 2 11	北海道の生活と経済	●	
19 LCS 2 12	応用ビジネスコンピューティング		●

19	LCS	2	13	現代社会と法		●
19	LCS	2	14	女性福祉論		●
19	LCS	2	15	地域社会論	●	
19	LCS	2	16	アジア地域論	●	
19	LCS	2	17	情報処理論		●
19	LCS	2	18	芸術文化創造論	●	
19	LCS	2	19	食生活と健康	●	
19	LCS	2	20	エイジング論	●	
19	LCS	2	21	都市環境創造論	●	
19	LCS	2	22	情報収集と検索		●
19	LCS	2	23	応用マルチメディア		●
19	LCS	2	24	パフォーマンス	●	
19	LCS	2	25	住宅C A D設計Ⅰ	●	
19	LCS	2	26	住宅C A D設計Ⅱ	●	
19	LCS	2	27	住設計応用演習Ⅰ	●	
19	LCS	2	28	住設計応用演習Ⅱ	●	
19	LCS	2	29	カラープランニング	●	
19	LCS	2	30	写真表現		●
19	LCS	2	31	グラフィックデザイン演習Ⅰ	●	
19	LCS	2	32	グラフィックデザイン演習Ⅱ	●	
19	LCS	2	33	セクレタリー実務		●
19	LCS	2	34	現代文化論	●	

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

19 LCS 1 01 ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号
① ② ③ ④

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究

ナンバリング	授業科目名	ディプロマ・ポリシーとの対応		
		DP1	DP2	DP3
		DP1	DP2	DP3
	人の生活を総合的・複合的・科学的にとらえる知識・技術を有する。			
	生活に内在する問題を発見して適切に表現する能力、そして新しい生活方法を発想、実践する能力を持ち、主体的・能動的に生活の知的創造ができる。			
	時代のニーズを敏感に察知する感受性と、社会人として求められる知識、他者と協調できる豊かな人間性と表現力を身につけている。			
23 LCS 1 01	生活学基礎演習Ⅰ	●		●
23 LCS 1 02	生活学基礎演習Ⅱ		●	●
23 LCS 1 03	基礎情報処理			●
23 LCS 1 04	生活文化創造論	●		
23 LCS 1 05	生活経済創造論	●		
23 LCS 1 07	アセンブリⅠ	●	●	●
23 LCS 1 09	ファッション・アパレルビジネス			●
23 LCS 1 10	生活福祉論	●		
23 LCS 1 11	家族文化論	●		
23 LCS 1 13	現代子ども論			●
23 LCS 1 14	社会心理学	●		
23 LCS 1 15	生活支援実習			●
23 LCS 1 16	生活とサービス産業			●
23 LCS 1 17	現代社会と企業			●
23 LCS 1 18	ビジネスコンピューティング			●
23 LCS 1 19	生活情報論	●		
23 LCS 1 20	応用情報処理			●
23 LCS 1 21	Webパブリッシング			●
23 LCS 1 22	マルチメディア			●
23 LCS 1 23	住生活論	●		
23 LCS 1 24	住設計基礎実習	●	●	
23 LCS 1 26	インテリアデザイン演習		●	
23 LCS 1 27	住宅空間設計演習		●	
23 LCS 1 28	生活創造と色彩	●		●
23 LCS 1 29	基礎デッサン	●		
23 LCS 1 30	グラフィックデザイン論	●		
23 LCS 1 31	デジタルグラフィックス基礎	●		
23 LCS 1 32	海外の生活と文化	●		●
23 LCS 1 33	簿記・会計			●
23 LCS 1 34	日本語表現法			●
23 LCS 1 35	現代女性とキャリア			●
23 LCS 1 36	生活と資産	●		
23 LCS 2 01	アセンブリⅡ	●	●	●
23 LCS 2 02	生活創造専門演習		●	●
23 LCS 2 03	社会調査法		●	
23 LCS 2 04	発達心理学			●
23 LCS 2 05	生活心理学		●	
23 LCS 2 06	カウンセリング論			●
23 LCS 2 07	生活心理学研究法		●	
23 LCS 2 08	流通マーケティング論			●
23 LCS 2 09	生活と金融保険			●
23 LCS 2 10	現代社会と消費者問題			●
23 LCS 2 11	北海道の生活と経済	●		

23	LCS	2	12	応用ビジネスコンピューティング			●
23	LCS	2	13	現代社会と法			●
23	LCS	2	14	女性福祉論			●
23	LCS	2	15	地域社会論			●
23	LCS	2	16	アジア地域論	●		
23	LCS	2	17	情報処理論			●
23	LCS	2	18	芸術文化創造論	●		
23	LCS	2	19	食生活と健康	●		
23	LCS	2	20	エイジング論	●		
23	LCS	2	21	都市環境創造論	●		
23	LCS	2	22	情報収集と検索			●
23	LCS	2	23	応用マルチメディア			●
23	LCS	2	24	パフォーマンス		●	
23	LCS	2	25	住宅C A D設計Ⅰ	●	●	
23	LCS	2	26	住宅C A D設計Ⅱ		●	
23	LCS	2	27	住設計応用演習Ⅰ	●	●	
23	LCS	2	28	住設計応用演習Ⅱ		●	
23	LCS	2	29	カラープランニング		●	
23	LCS	2	30	写真表現			●
23	LCS	2	31	グラフィックデザイン演習Ⅰ		●	●
23	LCS	2	32	グラフィックデザイン演習Ⅱ		●	●
23	LCS	2	33	セクレタリー実務			●
23	LCS	2	34	現代文化論	●		

【ナンバリングについて】

教育課程（カリキュラム）における授業科目のレベルが分かるよう、グループ化し授業科目に「通し番号」を付しています。ディプロマ・ポリシー(DP)との対応とあわせて確認することで、学修計画を立てる際の参考にしてください。

(例)

23 LCS 1 01

① ② ③ ④ ①カリキュラム年度の西暦下2桁 ②学科・部門 ③レベル・順次性 ④通し番号

数字	③レベル・順次性
1	入門レベルの科目
2	中級レベルの科目
3	上級レベルの科目
4	演習・卒業論文・卒業研究